

第6号様式の2(第5条関係)

局長	次長	次長補佐	係長	係長
岩村				

令和 7年 3月 31日

流山市議会議長

様

交付議員名

矢口輝美

流山市議会政務活動費収支報告書

流山市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第3項の規定により、令和6年度政務活動費に係る収支を下記のとおり報告します。

記

1 収 入

流山市議会政務活動費 480,000円

2 支 出

項 目	金 額	内 訳
調査研究費	234,617円	八王子市 大牟田市・久留米市・福岡市 会津美里町・新地町 本多中 世田谷区役所 一関市 小平市 都城市・鹿児島市・霧島市 津山市・高梁市 世田谷中学校
研修費	101,723円	東日本大震災遺構を巡り防災・減災について学ぶ研修 「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム インクルーシブ教育フェスティバル
広報費	0円	
広聴費	0円	
資料作成費	355円	複写機使用料
資料購入費	1,000円	「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム資料集代
人件費	0円	
事務所費	0円	
その他の経費	0円	
合 計	337,695円	

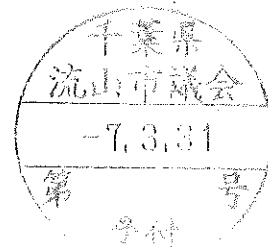
3 自己負担金

無し

※支出が収入を上回った場合は、その差額は議員の自己負担となります。

4 返 納 額

142,305円



調査研究費

調査研究費支出合計 234,617円

年 月 日		内 容	金 額	旅費等支出内訳書番号
自	至			
R6.5.23	R6.5.23	八王子市	6,000円	1
R6.7.31	R6.8.2	大牟田市・久留米市・福岡市	67,820円	2
R6.10.21	R6.10.22	会津美里町・新地町・相馬市	37,306円	3
R6.11.6	R6.11.6	世田谷区役所	2,420円	4
R6.12.23	R6.12.23	一関市	18,200円	5
R7.1.22	R7.1.22	小平市	2,320円	6
R7.1.27	R7.1.29	都城市・鹿児島市・霧島市	49,440円	7
R7.2.4	R7.2.5	津山市・高梁市	49,071円	8
R7.2.6	R7.2.6	世田谷中学校	2,040円	9

旅費等支出内訳書

NO. 1

調查研究費

会派・交付議員名： 矢口輝美

実施日	R6.5.23
場所及び 視察項目	東京都八王子市「医療的ケア児の受け入れについて」
参加者名	矢口輝美
費用合計	6,000円

※行政視察及び宿泊を伴う研修の場合は日程表を添付すること。

[illegible]

視察行程

【日程】 令和6年5月23日(木)

◆社会福祉法人 多摩養育園 光明第四こども園

◆八王子市役所

・医療的ケア児の受け入れについて

◆往路（片道：1,500円）

電車		電車		電車		電車
運河駅	——	流山おおたかの森駅	——	南流山駅	——	西国分寺駅
7:41発		7:49着		7:58着		9:07着
		7:53発		8:05発		9:16発

タクシー

西八王子駅——光明第四こども園

9:35着

タクシー

光明第四こども園——八王子市役所

12:00発

13:30着

(昼食)

◆復路

八王子市役所——運河駅

15:00発

同じ経路で帰宅

運河→西八王子 2024年05月23日(木)10:00到着

07:41発→09:35着 1時間54分(乗車1時間34分) 乗換: 3回 78.1km
現金優先: 1,500円 定期券 通勤: 1か月 46,750円 / 3か月 133,240円 / 6か月 242,290円

07:41	運河	乗車位置: [5両] 前 中 後 [6両] 中 後
3駅	東武アーバンパークライン(当駅始発) 柏行 [発] 2・3番線 → [着] 2番線	180円
07:49着 07:53発	流山おおたかの森	乗車位置: [6両] 中 後
2駅	つくばエクスプレス 秋葉原行 [発] 3番線 → [着] 2番線	210円
07:58着 08:05発	南流山	乗車位置: [8両] 前 中
17駅	J R武蔵野線 府中本町行 [発] 1番線 → [着] 3番線	1,110円
09:07着 09:16発	西国分寺	
6駅	J R中央線 高尾行 [発] 2番線 → [着] 2番線	
09:35	西八王子	

2 - ②

2 - ①

領収書

No007

2024年05月23日

車番 8104

運賃

900円

運賃料金計

900円

計

900円

消費税率

10.0%

登録番号: T6010101009644

お忘れ物は

飛鳥交通多摩株式会社

八王子営業所

042-663-3251

タクシーのご用命は

飛鳥共同無線株式会社

0570-075-770

領収書

現.テ.ク

2024年05月23日 -030

メーター運賃 ¥1,600円

固定迎車料金 + ¥500円

運賃料金計 ¥2,100円

合計 ¥2,100円

(税率10%)

登録番号 T8020001017505

現金支払 ¥2,100円

毎度ご乗車ありがとうございます。

上記金額正に領収致しました。

車両番号 008122

タクシーのご用命また

お忘れ物お気付きの点は当社へ

三和交通株式会社

八王子市元本郷町3-6-5

TEL 042-364-6000

視察報告書

報告者氏名 矢口 輝美

1 視察期日 令和6年5月23日(木)

2 視察地

(1) 社会福祉法人 多摩養育園 光明第四こども園(八王子市横川町603)

(2) 八王子市役所

3 調査事項

(1) 医療的ケア児の受け入れについて

(2) 幼小接続を見通した教育課程の編成・実施の実践について

①乳幼児すくすくてくてくガイドラインについて

②保・幼・小連携の日の実施要項と効果について

(調査目的) 令和元年の文部科学省幼児教育実態調査では、全国では約6割の市町村で、幼小接続を見通した教育課程の編成・実施が行われていないとあるが、この13年で90園もの民営の保育園が増えた流山市においても接続における課題がある。保育園や幼稚園、学校教育の管轄が分かれていることも連携上の課題がある。そこで貴自治体の計画と実践例について調査するため。

4 所感等

(1) 医療的ケア児の受け入れについて

昭和38年に開園された保育園、平成29年に一号認定(子どもの年齢が満3歳以上、保育に必要な事由に該当しない、教育標準時間4時間程度で通園)を預かるようになり、令和3年度から医療的ケア児の受け入れをスタートした。医療的ケア児の受け入れについては、令和2年度に市役所とやり取りし準備をした。現場は受け入れに際し、面談、情報共有、職員間の確認検討を繰り返し、対象児の受け入れスタート。今年度は酸素ポンペを必要とする幼児と、車いすを必要とする幼児2名を受け入れ。受け入れの際にどのような事を気を付けているのか、事例ベースでお話いただき、その後実際に園での様子を参観した。医療的ケア児2名とも、周りの子ども達と一緒に活動していた。「保育士も不安だったが、医療的ケア児を受け入れる事で、子ども達が自然と助け合えるようになった。子どもは子ども同士で学び合うことがわかった。」という言葉が印象的だった。特に車いすを必要とする幼児は、乳児の頃から受け入れを開始、「自分に出来る事は自分で」と、身辺自立を目標に取り組んできたが、まわりのお

友だちからの刺激が大きいことで、他の子と同じ活動をしたいという意欲が芽生え、乳児の頃は保育者との関わりや援助を好んでいたが、幼児になって活動の幅も広がったとのこと。周りの子ども達も、「お友だち」として遊んでいるとの事だった。

（２）幼小接続を見通した教育課程の編成・実施の実践について

小学校 69 校＋義務教育学校 1 校＝計 70 校 第一学年 3800 名（令和 6 年度）

保育園・幼稚園合わせて 216 園

多くの保育園から、小学校に進学するのは流山と同じ状況。

○ガイドラインの共有と、就学支援シートの活用について

ガイドライン策定後、市の職員が全ての園を周り説明し、幼保アドバイザー 3 名が、保育観察をし、カンファレンスを開催する事を繰り返した。保幼小子育て協議会で意見交換をし、保育園協会、幼稚園協会で国の動きを共有し、研修を実施、共通理解を図っている。課題として、施設数が多いため、支援策を考えるのが難しい事が挙げられた。幼保小で、ガイドラインについて研修を実施。今後は中学でも研修を実施予定。家庭の想いを受け取るために、就学支援シートを保護者全員に記入してもらっている。

○市長部局と教育委員会の連携について

定期的に意見交換をする事で連携を図っている。架け橋プログラムについての相互理解が出来ており、「幼稚園保育園で遊んできた事が、こうやって学びに繋がるんだよ。」という事が双方で理解されていた。今後は令和版のスタートカリキュラムを作成予定とのこと。

流山市でも、全保育園で障害児の受け入れをスタートし、今後は全幼稚園での受け入れもスタートするという事だったが、支援が必要な子ども達をどのように受け入れていくのかを具体的にイメージ出来なかった。実際に医療的ケア児を受け入れている園の取り組みは大変参考になった。支援と自立は相反する部分もあり、自分でやってみたいという気持ちをどのように育んでいくのかが大事なのだと改めて理解した。

八王子では、自然な形で市長部局と教育委員会が連携が出来ていた。大人の事情ではなく、一人一人の子どもに寄り添った形の支援が出来ることが一番大切だと思う。流山市でも、良い形で取り組んでいけるように考えたい。

旅費等支出内訳書

NO. 2

調査研究費

会派・交付議員名: 矢口輝美

実施日	R6.7.31-R6.8.2
場所及び 視察項目	福岡県大牟田市「大牟田市ESDコンソーシアムについて」 福岡県久留米市「ZEBへの取り組みについて」 福岡県福岡市「福岡市自転車の安全利用に関する条例について」
参加者名	矢口輝美
費用合計	67,820円

※行政視察及び宿泊を伴う研修の場合は日程表を添付すること。

日付	項 目	内容(経路、等具体的に)	内 訳			領収証 (証憑) 番号	備 考
			単価	数	金額		
R6.6.28	交通費	7月31日分航空運賃 羽田空港(ANA241)→福岡空港	19,200円	1	19,200円	1	
R6.6.28	宿泊費	7月31日宿泊分 グリーンリッチホテル久留米	12,000円	1	12,000円	1	
R6.6.28	宿泊費	8月1日宿泊分 リッチモンドホテル福岡天神	15,100円	1	15,100円	1	
R6.6.28	交通費	8月2日分航空運賃 福岡空港→羽田空港	15,870円	1	15,870円	1	
R6.7.31	交通費	運河(東武)→柏(JR)→浜松町(モ ノレール)→羽田空港第2ターミナル	1,390円	1	1,390円	2	
R6.7.31	交通費	福岡空港(地下鉄)→天神	260円	1	260円	3	
R6.7.31	交通費	西鉄福岡天神(西鉄)→大牟田	1,050円	1	1,050円	4	
R6.7.31	交通費	大牟田(JR)→久留米	660円	1	660円	5	
R6.8.1	交通費	西鉄久留米(JR)→西鉄福岡(天神)	640円	1	640円	6	
R6.8.2	交通費	天神(地下鉄)→福岡空港	260円	1	260円	7	
R6.8.2	交通費	羽田空港第2ターミナル(モノレー ル)→浜松町(JR)→柏(東武)→運 河	1,390円	1	1,390円	2	

視察(令和6年7月31日～8月2日)行程

行程		備考	
駅、視察先など	発着		
1日目:7月31日(水)			
羽田空港第2ターミナル	集合	6:50	ANA241(福岡空港行き B787-10)
	発	7:35	
福岡空港	着	9:25	福岡市地下鉄空港線 各駅停車 姪浜行き 天神で昼食
	発	10:03	
天神/西鉄福岡	着	10:14	西鉄天神大牟田線 特急 大牟田行き
	発	13:30	
大牟田(大牟田市役所)	着	14:34	大牟田市議会事務局 〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3 電話:0944-41-2222 FAX:0944-41-2552
【福岡県大牟田市視察】 ・大牟田市ESDコンソーシアムについて	15:15	16:45	
大牟田(大牟田市役所)	発	16:47	JR鹿児島本線 普通 門司港行き
久留米	着	17:24	
	発	17:30	徒歩
宿泊先	着	17:45	
◇宿泊先 【グリーンリッチホテル久留米】			〒830-0017福岡県久留米市日吉町18-1 TEL0942-39-3000 FAX.0942-46-3300
2日目:8月1日(木)			
宿泊先	集合	13:00	久留米市内昼食後集合
久留米市役所(環境部庁舎)	着	13:15	徒歩
【福岡県久留米市視察】 ・ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) への取組みについて	13:30	15:00	久留米市議会事務局 〒830-8520 福岡県久留米市城南町15番地3 TEL. 0942-30-9305 FAX. 0942-30-9720 久留米市環境部庁舎 〒830-0042 福岡県久留米市荘島町375 TEL. 0942-37-3342
久留米市役所(環境部庁舎)	発	15:05	徒歩
西鉄久留米	着	15:35	
	発	15:37	JR鹿児島本線 区間快速 小倉行き
西鉄福岡(宿泊先)	着	16:41	
◇宿泊先 【リッチモンドホテル福岡天神】			〒810-0004福岡県福岡市中央区渡辺通4-8-25 TEL.092-739-2055 FAX.092-739-2056
3日目:8月2日(金)			
宿泊先	集合	13:00	昼食後集合
福岡市役所	着	13:15	徒歩
【福岡県福岡市視察】 ・福岡市自転車の安全利用に関する条例について	13:30	15:00	福岡市議会事務局 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1丁目8-1 TEL. 092-711-3280 FAX. 092-733-5869
福岡市役所	発	15:15	徒歩
天神	着	15:30	
	発	15:43	福岡市地下鉄空港線 各駅停車 福岡空港行き
福岡空港	着	15:53	
	発	17:35	ANA264(羽田空港行き B787-10)
羽田空港第2ターミナル	着・解散	19:25	

領 収 証

No. 029223

登録番号: T4020001073907

2024 年 6 月 29 日

山形県立中央病院 様

¥ 62,070

(内消費税 ¥ 5,651)

但し

石川 敬子様へ
山形県立中央病院へ
山形県立中央病院へ

- ① 現金
- ② クレジットカード
- ③ 振込

上記金額正に領収いたしました

領収箇所名。領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効となります。



T-LIFE パートナース株式会社

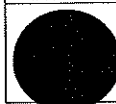
松戸支店

〒271-0091 千葉県松戸市本町18-1 (XRF松戸ビル)

TEL 047-363-6191

FAX 047-362-6191

領収者印



INVOICE

流山市議会 矢口 輝美 様



LIFE
Travel makes life fun

担当：

[illegible]

税率区分	消費税	金額 (税込)
10%対象	¥5,651	¥62,170
8%対象	¥0	¥0

¥62,170

お支払い期限：7月31日（水）



運河→羽田空港第2ターミナル(東京モノレール・ANA利用)

2025年07月31日(木)始発

05:15発→06:51着 1時間36分(乗車1時間15分) 乗換：3回 63.3km

現金優先：1,390円 定期券 通勤：1か月 42,210円 / 3か月 120,320円 / 6か月 222,680円

05:15	運河	乗車位置：[5両] 前 中 後 [6両] 前 中
5駅	東武アーバンパークライン 船橋行 [発] 2・3番線 → [着] 3番線	210円
05:28着 05:35発	柏	乗車位置：[15両] 前 中 後
5駅	J R常磐・成田線快速 上野行 [発] 3番線 → [着] 3番線	660円
06:00着 06:03発	日暮里	乗車位置：[11両] 中 後
9駅	J R山手線外回り 上野・東京方面 [発] 10番線 → [着] 3番線	
06:21着 06:32発	浜松町	
3駅	東京モノレール空港快速(当駅始発) 羽田空港第2ターミナル行 [発] 情報なし → [着] 1・2番線	520円
06:51	羽田空港第2ターミナル(東京モノレール・ANA利用)	

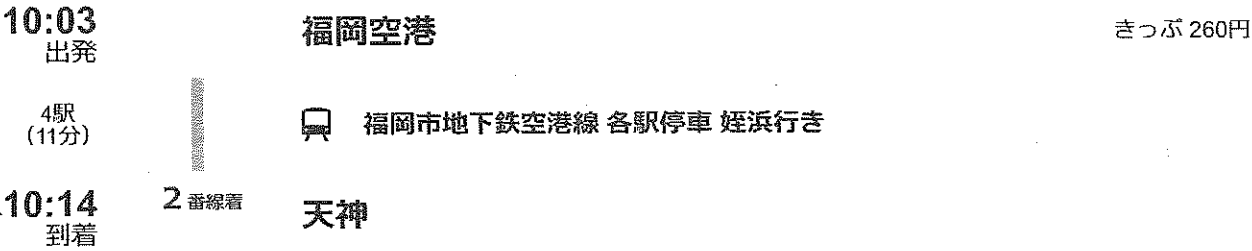


3

2024年07月31日(水) 10:00出発

福岡空港→天神

10:03発→10:14着 乗換0回 所要時間11分 260円



©2024 駅探



4

2024年07月31日(水) 13:20出発

天神→大牟田

13:23発→14:34着 乗換0回 所要時間1時間11分 1,050円

13:23
出発

天神

(7分)

歩 徒歩

13:30着
13:30発

西鉄福岡(天神)

きっぷ 1,050円

9駅
(1時間4分)

西鉄天神大牟田線 特急 大牟田行き

△14:34
到着

大牟田

©2024 駅探



2024年07月31日(水) 15:45出発

大牟田→久留米

16:14発→16:50着 乗換0回 所要時間36分 660円

16:14
出発

大牟田

きっぷ 660円

9駅
(36分)

JR鹿児島本線 普通 鳥栖行き

16:50
到着

5 乗り換え

久留米

©2024 駅探



6

2024年08月01日(木) 15:45出発

西鉄久留米→西鉄福岡(天神)

15:37発→16:17着 乗換0回 所要時間40分

640円

15:37
出発

西鉄久留米

きっぷ 640円

10駅
(40分)

西鉄天神大牟田線 急行 西鉄福岡行き

△16:17
到着

西鉄福岡(天神)

©2024 駅探



7

2024年08月30日(金) 15:40出発

天神→福岡空港

15:43発→15:55着 乗換0回 所要時間12分 260円

15:43
出発

1 徒歩

天神

きっぷ 260円

4駅
(12分)

福岡市地下鉄空港線 各駅停車 福岡空港行き

△15:55
到着

福岡空港

©2024 駅探

視察報告書

報告者氏名 矢口輝美

1 期 日 令和6年7月31日(水)～8月2日(金) 2泊3日

2 視察地・調査事項及び所感等

【1】福岡県大牟田市「大牟田市ESDコンソーシアムについて」

◇大牟田市について

人口：105,579人

面積：81.55 km²

学校数・児童生徒数：小学校19校(約4800人) 中学校8校(約2400人)

夜間中学 1分校 特別支援学校1校(約120人)

◇大牟田市ESDコンソーシアムについて(令和2年～)

高齢化による人口減少の対策として、特色のある事業を行うことを目的とし、平成24年1月全小中特別支援学校がユネスコスクール(ユネスコの理念を実現する)に登録した。また平和や国際的な連携を実践する学校でESDの推進拠点として、教育委員会が登録されている。

◇大牟田市がすすめているESD

1. 大牟田市ESD推進本部(市長を本部長、教育長を副本部長、各部の部長を推進委員として、各部でESDの視点で事業を推進し、持続可能な大牟田のまちづくりを目指している。)

2. 学校(市内学校全てがユネスコスクール)

3. 大牟田市ESD推進協議会(地域や市民のみなさん)

3者の協働により、SDGs、ESDを推進している。

◇ESDと各部局の関わり一覧

部局	ESDの学習テーマ（主なもの）
企画総務部	世界遺産・文化財、国際理解
市民部	消費者教育
市民協働部	地域学習、伝統文化、人権
都市整備部	防災・減災、持続可能な都市づくり
産業経済部	エネルギー教育、地産地消
環境部	環境教育、海洋教育
保健福祉部	福祉学習、保健・衛生
消防本部	防災・減災
企業局	環境教育

学校と各部局が連携し、授業を実施している。（各部局がどんな授業を出来るのかを提案）

◇第3回ジャパンSDGsアワード SDGsパートナーシップ賞受賞

市内すべての公立小・中・特別支援学校でSDGsの達成に向けた持続可能な教育を推進。子どもたちが自ら地域の課題を見出して、自分で考えて行動する学びを展開したことを評価され受賞。

◇教育委員会の取り組み

- ・教職員向け それぞれのニーズに応じた研修の場を設定
- ・企業と学校とのマッチング
- ・交流会の実施

◇特色のある各学校毎の、それぞれの地域の課題解決に向けた取り組み

例：子ども民生委員活動

防災・減災学習 地域の防災訓練 中学生として何ができるのか

子どもと身体の不自由な方と一緒にチームで地域を歩き、課題をまとめて行政当局の方に提案書を提出→子ども達の提案で何かを変えることが出来る体験をする

◇予算について

CSRを有効活用

各学校にESDの予算 1学校 20万程度（校長裁量）

◇子ども達の様子

良かった点

全国学力調査の中で、地域の為に何かをやりたいを選択した児童生徒が平均より15%アップした、ESDのゴールは2030年。今後、人口は先細りになると予想される大牟田市、まちのために何かをしようと思ってくれる子を増やしていくための活動が必要。そして、この活動を経験して育った子ども達が、大牟田若者会議（39歳まで）に繋がっていくことが理想の形。

◇所感

市全体の教育が同じ方向を向いていると、エリア全体での共通認識が育ち、豊かな考えを持った人が育ち、その人達がまた街を育てる好循環を生むことに繋がるということが素晴らしいと思った。流山市でも是非取り組んでいきたい事例である。（学校の先生方にとっても、子ども達にとっても、行政にとってもメリットがある）

【2】福岡県久留米市「ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）への取り組みについて」

◇久留米市について

人口：300,516人

面積：229.96 km²

◇ZEBについて

Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で、「ゼブ」と呼ぶ。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。建物の中では人が活動しているため、エネルギー消費量を完全にゼロにすることはできないが、省エネによって使うエネルギーをへらし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることで、エネルギー消費量を正味（ネット）でゼロにすることができる。

◇ZEB前とZEB後

断熱強化と全熱交換換気扇導入により、空調設備の大幅なダウンサイジング
非常時でも蓄電しているので安心

◇きっかけからZEB化まで

平成28年度策定 久留米市公共施設総合管理基本計画

老朽施設の増加に伴い、施設維持費が1.5倍の105億円になることから、ZEB化の検討をスタートした（国の補助があったため）。

既存の建物のZEB化はあまりなかったため、有志でZEBチームを作り、課題に対して調査・研究を実施、技術職員も含めて他の自治体の情報を集めた。

その後、環境政策部と設備課・建築課で意見交換・協議連携し、すでに使われている技術の研究・検討。庁内・特別職・議会に説明。→ボトムアップ型によるZEB化実施の合意形成が出来た。（全庁連携で取り組む事が大事！）

◇ZEB化しやすい建物

創エネ→屋根に太陽光パネル

外気の影響を受けない換気扇・窓ガラス→小さいエアコンで対応出来るようになる

ZEB化推進により、市内施設のZEB化可能性調査を実施、全7カ所を実施。

◇今後の課題

技術職員から、これならZEBが出来るのでは？と提案されるようになり、公共工事を検討する際にはZEB化を検討するようになった。今後は民間に補助金を出すことで温暖化対策（ZEB化）をすすめていきたい。

◇所感

国の施策の方向性をしっかり見て、タイミングを逃がさないこと（国の補助金）がとても大事で、この事例の場合、ボトムアップでZEB化を達成出来たことが、職員にとっても意識を高める良い機会になったと考える。視察に伺った日はとても暑い日で、断熱の効果を実感することが出来た。

【3】福岡県福岡市「福岡市自転車の安全利用に関する条例」について

人口：1,653,767人

面積：343.47km²

◇福岡市自転車活用推進計画

天神地区の放置自転車台数が、平成13年、15年の2期連続で全国ワースト1位になったことから、平成16年7月に福岡市自転車利用総合計画を策定。自転車対策や走行マナー啓発などの取り組みを重点的に実施し、放置自転車の台数は平成13年18531台から令和5年728台に減少した。

◇福岡市の自転車安全利用に関する条例について（平成24年12月27日施行）

平成24年までの自転車事故件数は約3000件超、条例制定後、事故数は減少し令和4年は1386件までに減少した。

・押し歩き推進区間の設置：駅から出てきた人と、自転車がぶつかる事故が多かったため、渡辺通り西側歩道約400m、平日8時～19時、土日・休日10時～19時に実施）

・自転車安全利用推進指導員（歩行喫煙防止指導員・迷惑駐車防止指導員）：元警察官13名に委嘱（会計年度任用職員） 都心部における自転車安全利用に関する啓発・指導、押し歩き推進区間の啓発・指導 元警察官なので、ルールについてもよく理解している（報酬あり）平成

25年の指導件数は265760件、令和4年は147360件。

・自転車安全利用推進員：無償ボランティア95名に委嘱 小学校区（145校）で活動

◇市の取り組み

教育委員会が小学校4年生を対象に自転車教室を開催、中学校ではVRを使用し、事故などを体験

◇福岡市自転車活用推進計画策定

「はしる」、「とめる」、「まもる」、「いかす」の4つの観点による施策を進め総合的に自転車活用を促進。

はしる：自転車通行環境の創出 安全で快適な通行環境づくり

まもる：自転車利用の適正化 適正な自転車利用の促進

とめる：駐輪環境の整備 利用しやすい駐輪環境づくり

いかす：自転車の活用 自転車を活用したまちづくり

◇駐輪場

路上駐車を一気に撤去し、ビルの建て替えの際に民間の駐輪場整備を進め、天神地区では60000台の自転車を駐輪出来るようになった。

◇共有自転車（チャリチャリ）

福岡は学生や通勤族が多いため、自転車を放置する人が多かったため、共有自転車を推進、初期投資はかさむが、昨年度初めて黒字になった。

◇所感

市が課題に対して条例化、計画に落とし込み、しっかり対応している事例であり、都市開発を進める際には参考にすべきことが多くあった。条例を制定してから、効果が現れるまでしばらく

く時間がかかっているが、着実に成果が出ていると感じた。おおたかの森地区の駐輪場が足りない問題についても参考に出来る事例であるとする。

旅費等支出内訳書

NO. 3

調査研究費

会派・交付議員名: 矢口輝美

実施日	R6.10.21～R6.10.22
場所及び 視察項目	福島県会津美里町「学校不適應に係るデータ連携の実証」について 福島県新地町「新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業」他 福島県相馬市「防災倉庫について」
参加者名	矢口輝美 ※鈴木ゆうすけ議員も同行
費用合計	37,306円

※行政視察及び宿泊を伴う研修の場合は日程表を添付すること。

日付	項 目	内容(経路、等具体的に)	内 訳			領収証 (証憑) 番号	備 考
			単価	数	金額		
R6.9.21	交通費	10月21日分(新幹線) 大宮→郡山	4,450円	1	4,450円	1	
R6.9.22	交通費	10月22日(新幹線) 郡山→大宮	4,450円	1	4,450円	2	
R6.10.21	交通費	運河→大宮	490円	1	490円	3	
R6.10.21	宿泊費	10月21日宿泊分 ホテルグランド新地	8,800円	1	8,800円	4	
R6.10.22	交通費	大宮→運河	490円	1	490円	3	
R6.10.21	交通費	高速料金 郡山→磐梯河東1350 円	675円	1	675円	5-1	
R6.10.21	交通費	高速代 会津若松→桑折JCT2750 円	1,375円	1	1,375円	5-2	
R6.10.21	交通費	高速代 桑折JCT→郡山1600円	800円	1	800円	5-3	
R6.10.22	交通費	レンタカー代26730円	13,365円	1	13,365円	5-4	
R6.10.22	交通費	ガソリン代4821円	2,411円	1	2,411円	5-5	

視察行程（矢口輝美）

令和6年9月20日

【日程表】 令和6年10月21日（月）－令和6年10月22日（火）

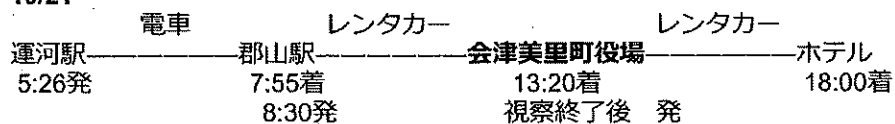
◆視察項目

- 10/21 福島県会津美里市役所(概ね13:30～15:00視察)
「学校不適應に係るデータ連携の実証」について
- 10/22 福島県 新地町役場(概ね10:00～11:30視察)
「新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業」
「エビデンスに基づいた学校教育の改善に向けた実証事業」
- 10/22 福島県相馬市
防災倉庫

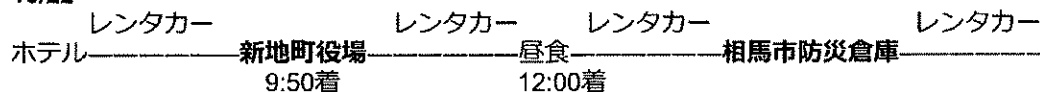
◆予定経路

（公共交通の利便性の問題でレンタカーを使用）

10/21



10/22



電車
郡山駅———運河駅
(解散各々の最短ルートで帰路へ)

◆宿泊先：ホテルグラーブ新地（福島県相馬郡新地町駅前1－2）

発行日 2024年11月04日19時47分
発行番号 No.E339390133953481021

えきねっと ご利用票兼領収書
下記の金額を、確かに領収しました。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 : T9011001029597

宛名	流山市議会議員 矢口 輝美 様
----	--------------------

金額	¥4,450(税込10%) クレジットカード利用(カード番号下4桁: XXXXXXXX)
----	---

但し	きっぷのご購入代金として
----	--------------

きっぷの明細

予約番号	E33939
------	--------

購入日	2024年09月21日
-----	-------------

乗車日	2024年10月21日
-----	-------------

列車名・区間	○やまびこ 201号指定席(乗車券込み) 大宮 → 郡山 (福島県)
--------	---------------------------------------

ご利用人数	おとな1名
-------	-------

発行日 2024年11月04日19時47分
発行番号 No.E457900133953481022

えきねっと ご利用票兼領収書
下記の金額を、確かに領収しました。

2

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 : T9011001029597

宛名 流山市議会議員
矢口 輝美 様

金額 ¥4,450(税込10%) クレジットカード利用(カード番号下4桁 : XXXXXXXX)

但し きっぷのご購入代金として

きっぷの明細

予約番号 E45790

購入日 2024年09月22日

乗車日 2024年10月22日

列車名・区間 ○やまびこ156号指定席(乗車券込み)
郡山(福島県) → 大宮

ご利用人数 おとな1名

運河→郡山(福島県) 2024年10月21日(月)始発

05:26発→07:23着 1時間57分(乗車1時間43分)



乗換: 1回

229.6km

現金優先: 6,540円 (乗車券3,900円 特別料金2,640円)

定期券 通勤: 1か月 162,430円 / 3か月 462,900円 / 6か月 - 円

05:26 運河

乗車位置: [5両] 前 [6両] 前

18駅

東武アーバンパークライン 大宮行 [発] 情報なし → [着] 1・2番線

490円

06:15着
06:29発

大宮(埼玉県)

2駅

J R新幹線やまびこ51号 盛岡行 [発] 17番線 → [着] 12番線

自由席: 2,640円

3,410円

07:23 郡山(福島県)

ご利用明細書
(STATEMENT)

登録番号: T9380001027558
(registration number)

4

部屋番号 (Room Number) 0301
会社名 (COMPANY) 流山市議会議員

株式会社新輝 ホテルグランド新地
〒 979-2709
福島県相馬郡新地町駅前1丁目2番地
Shinki Company HOTEL GRADO SHINCHI
1-2, Ekimae, Shinchi-cho,
Soma-gun, Fukushima
TEL 0244-26-6888 FAX 0244-26-6889

お名前 (GUEST NAME) ヤマザキ様

予約番号 (RESERVE NO) 0051390-000
ご到着日 (ARRIVAL) 2024/10/21 (MON) 泊数 (NIGHTS) 1
ご出発日 (DEPARTURE) 2024/10/22 (TUE) 人数 (PERSONS) 1

担当者 (in charge)

期間 (TERM) 24/10/21 (MON) ~ 24/10/22 (TUE)

利用日 DATE	明細 DESCRIPTION	単価 PRICE	数 QTY	金額 AMOUNT
2024/10/21	スタンダードシングル/Room Charge	8,800	1	8,800
10%税込 対象合計 (10% Tax Rate Items)		8,800	内消費税 (Include Tax) 800	
2024/10/21 18:53:55 CLERK 00006		合計金額 (TOTAL AMOUNT)		8,800
ご署名 (SIGNATURE)		内 クレジット		8,800
会社名 (COMPANY)		内 前受・売掛		0

令和6年10月22日

費用分担合意書

令和6年10月21日（月）～22日（火）に実施した福島県会津美里町・福島県新地町・福島県相馬市視察に係る費用分担について、以下の通り確認の上、合意する。

1. 費用分担する費用

公共交通機関利用時以外に発生する交通費（レンタカー代・高速代・ガソリン代）

2. 費用分担の基本的な考え方

各々にとって有益な視察内容であることから視察に同行し、その際にかかる交通費を按分するもの。

なお、按分額に1円未満の端数が生じた場合は、矢口議員側が切り上げ、鈴木議員側が切り捨てとする。

また、当該費用の政務活動費における支出に際しては、本文書の写しを添付することで証憑の代わりとする。原本は議会事務局において保管することとする。

3. 具体的な費用分担について

日付	内容	按分額		合計額	領収証 (証憑)番号
		鈴木 ゆうすけ	矢口 輝美		
R6.10.21	高速代	675	675	1350	1
R6.10.21		1375	1375	2750	2
R6.10.22		800	800	1600	3
R6.10.22	レンタカー代	13365	13365	26730	4
R6.10.22	ガソリン代	2410	2411	4821	5

4. 領収証
別紙

鈴木 ゆうすけ

矢口 輝美



ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 磐梯河東

NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

24年10月21日 9時15分

車種 普通

通行料金 ¥1,350-

※通行料金の消費税率は10%です

(現金)

-入口料金所- 郡山

ETCなら小銭不要。各種割引もあります。

便利でお得なETCをぜひご利用下さい。

東日本高速道路株式会社

東京都千代田区霞が関3-3-2

登録番号: T9010001095716

取扱番号204-00010842-00

$$\downarrow \\ 1,350 \times \frac{1}{2} = 675$$

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 桑折JCT

NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

24年10月21日 17時04分

車種 普通

通行料金 ¥2,750-

※通行料金の消費税率は10%です

(現金)

-入口料金所- 会津若松

ETCなら小銭不要。各種割引もあります。

便利でお得なETCをぜひご利用下さい。

東日本高速道路株式会社

東京都千代田区霞が関3-3-2

登録番号: T9010001095716

取扱番号206-01351541-00

$$\downarrow \\ 2,750 \times \frac{1}{2} = 1,375$$

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 郡山

NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

24年10月22日 17時18分

車種 普通

通行料金 ¥1,600-

※通行料金の消費税率は10%です

(現金)

-入口料金所- 桑折JCT

ETCなら小銭不要。各種割引もあります。

便利でお得なETCをぜひご利用下さい。

東日本高速道路株式会社

東京都千代田区霞が関3-3-2

登録番号: T9010001095716

取扱番号202-04151610-00

$$\downarrow \\ 1,600 \times \frac{1}{2} = 800$$

4

		領 収 書		№ 058282			
		鈴木 雄介 様		2024 年 10 月 22 日			
領収額	¥	2	6	7	3	0	-
領収種別 (現金・小切手・クーポン・振込・クレジット・NBM)							
R_NO:		FY246616					
但し レンタカー代として							
(税込金額)							
10%	26,730	円					
0%		円					
(消費税額等)							
10%	2,430	円					
0%		円					
上記金額正に領収致しました							
支払人ご署名							
ニッポンレンタカー東北株式会社							
(本社) 〒980-0014 仙台市青葉区本町二丁目1番30号							
電話 050-1712-2956							
(登録番号 T7370001011168)							
発行営業所				扱 者			
郡山駅西口							

↓

$$26,730 \times \frac{1}{2} = 13,365$$

5

ENEOS

納品書(領収書)

2024年10月22日 17:25

売上

様 M

6-250313-49990-001

現金フリー

車両番号

実車番

0026-00

レギュラー

P-01

27.24L

*

177円

¥4,821

合計

¥4,821

(消費税10%対象

¥4,821

内消費税等

¥438)

現金でお買上げの場合は領収書にかえさせていただきます。

株式会社クラシマ 郡山日吉ヶ丘店

福島県 郡山市町東1-202

TEL:0249526066

SS-250313

登録番号: T4380001000437

レシートNo 3291-01 デーNo5339-5341

003

2024/10/22

↓

$$4,821 \times \frac{1}{2} = 2,410.5$$

知 2,410
鈴木 2,411

視察報告書

令和6年10月22日

矢口輝美

◆期日 令和6年10月21日(月)～令和6年10月22日(火)

◆視察項目

10/21 会津美里市役所(概ね13:30～15:00視察)
「学校不適応に係るデータ連携の実証」について

〈説明者〉

会津美里町 こども教育課 大竹淳志課長 国分政和課長補佐 小野泰弘主幹
TOPPAN 茂庭佳秀氏

〈概要〉

全国的に増加している不登校児童対策として、文部科学省は誰一人取り残されないまなびの保証に向けた不登校対策「COCOLOプラン」を実施している。会津美里町では、不登校の出現の増加率が国、県の数値を大きく上回っていること、また学校からのSOSによりSSWが介入したケースもこの2年間で急増していることから、こどもデータ連携実証事業に採択された。

学校不適応感は、学校場面への適応の困難さを示し、不登校、いじめ、緘黙、校内暴力、学級崩壊など、広く学校内での集団不適応や学業不適応の問題を包括するものとし、きちんと登校しているが、実は学校が楽しくないと思っていたり、本当は学校に来たくなかったと知っているなど、兆候がわかりやすい行動にでてはいないが、学校生活に後ろ向きな気持ちを抱いている子どもたちであり、会津美里町のこどもデータ連携実証事業では、データを用いて、これらの児童生徒を早期に検知し、適切な支援を行うことを目的としている。

①学校不適応の定義づけ

②公務システムや各種データから学校不適応の判定ロジックの構築

③生徒が日々の心・体の調子を記入する「まなびのあしあと」というアプリを活用し、要支援児童の抽出、支援実施、効果検証を行う仕組みを構築

④支援対象の生徒にコメントバック、声掛けによる支援を実施

学校不適応の抽出条件は、校務支援システムデータとアプリ、独自に策定しているQOSLによるもの。企業(TOPPAN)との協働で進めている。

〈所感〉

現在、流山市では不登校児童に対する支援をスタートさせているが、不登校になる前のサインに気づき、適切な支援を行うことで不登校児童の数を減らすことが出来るのではないかと考えた。データ連携には、データが必要という根本的なことを考えると、「心の天気」を100%入力する所からのスタートである。

また、会津美里町が保有する3000以上のデータ項目を用いた回帰分析や相関分析により、データ連携検知に有用である可能性が高いデータ3つが示されている。

①通知表・指導要録評定

②BMI・体重

③2歳児・3歳児検診フッ素塗布の有無

特に、③は健康福祉部との連携により、いち早く支援の手を差し伸べられると考えられることから、今出来ることから、すぐにでもスタートするべきだと考える。

10/22 福島県 新地町役場(概ね10:00～11:30視察)
「新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業」
「エビデンスに基づいた学校教育の改善に向けた実証事業」

〈説明者〉

新地町教育委員会 教育総務課 木幡 邦枝課長
新地町教育委員会 教育総務課 総務学校係 指導主事 佐藤和子氏

〈概要〉

総合型校務支援システムと授業・学習系システムのデータ連携により、
「学習指導」「生徒指導」「家庭学習」「いじめ防止」「不登校防止」「教員の指導力向上」の充実をはかる

データ可視化システムによる成果

- ・主体的・対話的で深い学びの充実（意図的なグループ編成や児童生徒の発言や学習成果を認め励ます指導）
- ・不安を抱える児童生徒の早期発見・支援（出欠や遅刻・早退、保健室の利用や学習の記録を把握した教育相談の実施）
- ・チーム学校を機能させる様々な連携（教員・養護教諭・SSWなど）

データ可視化システムを利用することにより、教員の感覚に頼っていた部分が可視化され、根拠を基にした指導が可能になった（教師間の指導力の差が少なくなる）。
教員同士、SC、SSWの情報共有が容易になったことで、指導効果が質的に向上し、多種多様な客観的データの活用により、個々に合わせた学習支援が可能となった。

〈所感〉

日々の学校生活の中で、不安を抱えている児童、友達関係で課題を感じている児童、困っていることがある児童、学級の居心地が悪いと考えている児童について、一番多く時間を過ごす担任が、常日頃から全児童の様子を把握しているのが現状であり、担任の見取りだけが頼りになっているため、ちょっとした変化に気づきづらいという課題がある中で、データを効率的に活用して対応している新地町。いろいろなデータを効率的に活用し、子ども一人ひとりを見ようとしているのが良くわかった。その裏には、児童生徒の流出がある。子育て世代に教育で満足してもらうために、様々な取り組みをしている。保護者の理解も高く、新地町教育委員会の取り組みを住民に伝えるような機会もあり、議会も全面協力している所が素晴らしいと思った。流山でもすぐに取り入れることが出来ることがあったので、教育委員会に働きかけていきたい。

10/22 福島県相馬市
防災倉庫

〈説明者〉

相馬市 総務部 総務課長（兼）地域防災対策室 高橋裕宗課長
相馬市 総務部 地域防災対策室 消防防災係 齊藤 浩司係長

〈概要〉

相馬市防災備蓄倉庫『相馬兵糧蔵』
・所在地：福島県相馬市坪田字宮東25番
・敷地面積：3873.00㎡
・倉庫建築面積：1064.90㎡

施設概要

- ・ 防災備蓄倉庫棟
- ・ 仮設トイレ倉庫棟
- ・ 緊急離発着ヘリポート
- ・ 鎮魂広場
- ・ 防災行政無線屋外拡声子局
- ・ 太陽光発電パネル（90枚）

総工事費（復興交付金）316,360,800円

〈所感〉

事前に相馬市鎮魂記念館を見学、3.11の時にどのような被害があったのかを勉強してから伺った。とても静かな海が、あのような津波となって町を襲ったのを考えると自然には抗えないこと、そして自然と共に生きるためにどのようなまちづくり施策が必要なのかを考える機会となった。

防災備蓄倉庫は、海から離れた田んぼの中にあった。駐車場にはヘリポート、8トントラック、キッチンカーがあった。中に入ると海外の大型スーパーのように天井まで積み上げられた備蓄品の数々、フォークリフトもあり防災機器管理課に配属になるとフォークリフトを運転するための免許を取得するとのことだった。賞味期限のある品物に関しては、学校や自治会などの避難訓練で使用・配布、まだ使ったことのないものも多いとのことだった。壁にはこれまでの災害時に支援をしてくださった各自治体のプレートが掲げられており、姉妹都市や災害協定を結んでいる市の紹介も飾られていた。災害時、近くの自治体との助け合いだけでは乗り切れないという事で、全国の自治体と協定を結んでいる相馬市。特に3.11の際は風評被害により、宅配便のトラックも来なくなってしまい、食べるものにも困ったとのこと、あのような災害が起きた時に、どう対応すべきなのか難しい判断だったと思うが、本当にどこからも荷物が届かないことで自分たちでどうにかしなければいけないという気持ちが、ここまでの備蓄品を蓄えることにつながったのだと思った。

鎮魂広場では最後まで避難を呼びかけて亡くなられた消防団の方々のお名前が刻まれている。普段から地域のために頑張って下さっている消防団の皆さんのことが頭に浮かんた。私たちはこの災害を忘れてはいけない。普段からの関係づくりと、有事の際の助け合いの大切さについて改めて考えた。

視察行程（矢口議員）

【日程表】 令和6年11月6日（木）

- ◆東京都世田谷区役所(概ね10:00～11:30視察)
 - ・ 認知症条例について

- ◆往路（片道：1210円）

電車	電車	電車	電車	徒歩
運河駅——	柏駅——	松戸駅——	代々木上原駅——	豪徳寺——
7:54発	8:08着	8:23着	9:20着	9:31着
	8:15発	8:27発	9:24発	9:33発

山下駅——松陰神社前——世田谷区役所
9:35着 9:45分着 9:50着
9:38発

- ◆復路

世田谷区役所——運河駅
11:40発
同じ経路で帰宅



運河→松陰神社前 2024年11月06日(水)09:45到着

07:54発→09:45着 1時間51分(乗車1時間29分)		乗換: 4回	56.5km
② 現金優先: 1,210円		定期券 通勤: 1か月 42,140円 / 3か月 120,140円 / 6か月 220,330円	
07:54	運河	乗車位置: [6両] 前 中	
5駅	東武アーバンパークライン 柏行 [発] 2・3番線 → [着] 1番線	210円	
08:08着 08:15発	柏		
	J R常磐線(上野東京ライン) 品川行 [発] 3番線 → [着] 3番線	670円	
08:23着 08:27発	松戸	乗車位置: [10両] 前 中 後	
21駅	J R常磐線 代々木上原行 [発] 6番線 → [着] 2番線		
09:20着 09:24発	代々木上原	乗車位置: [8両] 中 後	
5駅	小田急小田原線 本厚木行 [発] 1番線 → [着] 1番線	170円	
09:31着 09:33発	豪徳寺		
	徒歩		
09:35着 09:38発	山下(東京都)		
4駅	東急世田谷線 三軒茶屋行	160円	
09:45	松陰神社前		

(例) 用件や行き先などを入力すると、経路とともに印刷できます。

印

印

印

印

印

視察報告書

令和6年11月7日

◆期日 令和6年11月6日(水)

◆視察項目

世田谷区役所 (10:00～11:30)

「認知症になっても安心して自分らしく暮らせるまちを目指して」

〈説明者〉

世田谷区高齢福祉部 介護予防・地域支援課 横尾拓哉課長

世田谷区高齢福祉部 介護予防・地域支援課 認知症在宅生活サポート担当 北畠たまみ係長

〈概要〉

世田谷区

人口：920,596人

65歳以上人口：188,647人

高齢化率：20.49% (全国平均29.1%)

介護保険の要支援・要介護認定者数：42,979人

介護保険の要支援・要介護認定者における認知症高齢者数：26,530人

(介護認定を受けていない、または若年性認知症の方は含まないため、実際はもっと多い。)

地域包括支援センター (あんしんすこやかセンター) 数：28か所 (委託) *

* 世田谷区は区内を5つの地域 (世田谷・北沢・玉川・砧・烏山) に分け、それぞれに総合支所を配置、各地域を3～7つに分けた全28地区にまちづくりセンターを配置

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域共生社会～地域包括ケアの地区展開～を目指し、まちづくりセンター (地区行政窓口)、あんしんすこやかセンター (地域包括支援センター)、社会福祉協議会、児童館の四者連携で、地域課題を把握・共有し、地域づくりを展開している。

〈認知症に関する施策〉

世田谷区認知症在宅生活サポートセンター (令和2年4月1日開設)

世田谷区における認知症ケアモデルの構築を進めていくため、認知症の早期対応体制の確立や、医療と福祉の連携推進、医療・介護の専門職の実務的な支援能力の向上、家族支援の充実などの専門的かつ中核的な全区の拠点としての役割を持っている。

また、「世田谷区認知症とともに生きる希望条例 (令和2年10月施行) や「世田谷区認知症とともに生きる希望計画」の推進における区との共同事務局としても機能。

世田谷区認知症在宅生活サポートセンターの5つの機能

- 1 訪問サービスによる在宅支援のサポート
- 2 家族支援のサポート
- 3 普及啓発・情報発信
- 4 技術支援・連携強化
- 5 人材育成

〈世田谷区認知症とともに生きる希望条例〉

世田谷区でも、認知症の人は今後ますます増えていくが、認知症になっても地域で自分らし

く暮らせる体制構築のために、世田谷区民が、未来思考で認知症施策に取り組むため道しるべとなる「条例」を制定。認知症の本人の視点を重視した条例にするために、本人とともに作り上げることに重点を置いた。

〈世田谷区認知症とともに生きる希望計画〉
世田谷区認知症とともに生きる希望条例を着実に実現していくため、「一人ひとりの希望及び権利が尊重され、ともに安心して自分らしく暮らせるまち、せたがや」を目指して、認知症施策を総合的に推進することを目的として策定。

〈アクション講座〉
平成18年～認知症サポーター養成数：36,244人 実施回数：1,398回

認知症サポーター養成講座の課題

- ・講座受講後、サポーターが本人や地域とつながる仕組みがない
- ・講座受講者の感想が見守りスタンスで、自分事になっていない。
- ・医学モデルから生活モデルへの転換が必要ではないか。

令和3年～世田谷区独自のアクション講座
希望条例の基本理念に掲げる「認知症観の転換」や「本人発信」、「地域づくり」等を推進するため、従来の講座内容をリニューアル。
区独自のテキスト「みんなでアクションガイド」や本人が出演するメッセージ動画を作成。
アクション講座受講者数：7,150人 実施回数229回

アクション講座のポイント

- ①一人ひとりが、認知症を自分ごととして
- ②認知症になってもよりよく生きていける地域づくりを
- ③体験者から可能性、共生、そなえを学ぶ

講座受講後、多様な区民などが身近な活動について話し合い、実践につながる流れを生み出す仕組みを作り、認知症の本人が参画し、その声を活動に反映させる仕組みづくりに向けて、地区の四者連携をバックアップし、連携しながら推進している。

〈所感〉
流山市では認知症サポーター講座の受講者数が人口の1割を超えているが、修了生がどのように地域で活躍していくかという部分に課題があると感じ、世田谷区の事例を学んで何かヒントを得られたらと思って視察に伺った。しかし世田谷区の取り組みは私自身の認知症に対する考えを転換させることからだということがわかった。私自身も義母のことで、包括支援センターにお世話になったが、実際は本当に困り果てて、初めて電話をかけたのを思い出す。包括支援センターは、今も大変な状況になってから連絡が来ることが多いので、相談でパンク状態になっていると思うが、世田谷区のようにみんなで支えていく仕組みが出来たらみんなが助かるのと思った。今ある仕組みを使うとしたら、高齢者ふれあいの家で、元気なお年寄りのチーム作りをして、そこから自分たちに何が出来るのかを考えていくことをサポートする。まだ外に出ていこうと思える高齢者の方たちに、どう活躍してもらえるのかを考えるのが良いと思った。

認知症のサポーターではなく、パートナーに。
従来の認知症感を転換し、「希望」ある前向きな条例に。
予防ではなく、「備え」の大切さを重視。
認知症の人の「意思」と「権利」の尊重。

流山市でも、困っている人を助けるような施策ではなく、困る前にどのような仕組みが必要なのかを考えていく必要がある。

視察行程（矢口議員）

【日程表】 令和6年12月23日（月）

◆一関市役所

◆「第2期一関市まち・ひと・しごと創生総合戦略における、実施した施策や事業の効果を設定した指標等により検証を行う手法」について

◆往路

電車	新幹線	徒歩	
運河駅	大宮駅	一関駅	一関市役所
7:15発	8:08着 8:21発	10:06着	13:20着

◆復路

徒歩	新幹線	電車	
一関市役所	一関駅	大宮駅	運河駅
15:00発	15:30着 15:48発	17:59着 18:17発	19:06着

発行日 2024年12月18日20時15分
発行番号 No.E865590133953481223

えきねっと ご利用票兼領収書
下記の金額を、確かに領収しました。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号：T9011001029597

宛名	流山市議会議員 矢口 輝美 様
金額	¥8,760(税込10%) クレジットカード利用(カード番号下4桁 XXXXXXXX)
但し	きっぷのご購入代金として

きっぷの明細

予約番号	E86559
購入日	2024年11月23日
乗車日	2024年12月23日
列車名・区間	○はやぶさ1 0 3号指定席(乗車券込み) 大宮 → 一ノ関
ご利用人数	おとな1名

発行日 2024年12月18日20時15分
発行番号 No.E499580133953481223

えきねっと ご利用票兼領収書
下記の金額を、確かに領収しました。

2

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 : T9011001029597

宛名	流山市議会議員 矢口 輝美 様
金額	¥8,460(税込10%) クレジットカード利用(カード番号下4桁 : XXXXXXXX)
但し	きっぷのご購入代金として

きっぷの明細

予約番号	E49958
購入日	2024年11月23日
乗車日	2024年12月23日
列車名・区間	○やまびこ 6 2号指定席(乗車券込み) 一ノ関 → 大宮
ご利用人数	おとな1名

運河→一ノ関 2024年12月23日(月)07:13出発

07:15発→10:06着 2時間51分(乗車2時間38分) 乗換：1回 448km
現金優先：13,010円 (乗車券7,420円 特別料金5,590円)

07:15	運河	乗車位置：[5両] 前 [6両] 前
18駅	東武アーバンパークライン 大宮行 [発] 情報なし → [着] 1・2番線	490円
08:08着 08:21発	大宮(埼玉県)	
4駅	J R新幹線はやぶさ103号 盛岡行 [発] 17番線 → [着] 11番線	指定席：5,590円 6,930円
10:06	一ノ関	

視察報告書

矢口輝美

1 視察期日

- ・ 令和6年12月23日（月）

2 研修地

- ・ 岩手県 一関市役所

3 調査事項

- ・ 「第2期一関市まち・ひと・しごと創生総合戦略における、実施した施策や事業の効果を設定した指標等により検証を行う手法」について

◇人口の将来推計と将来展望

一関市の独自推計では、今後人口動向が現在のまま推移すると、令和22年に82,044人となることが見込まれている。令和2年10月に改訂した一関市人口ビジョンでは、将来にわたって持続可能な地域とするための施策を展開することにより、令和22年（2040年）に8万9千人程度の人口を確保することを展望とした。

◇策定趣旨

まち・ひと・しごと創生総合戦略は、人口減少の抑制と人口減少下においても持続可能な社会を構築するため、豊かな生活を安心して営むことができる地域社会の形成（まち）、地域社会を担う人材の確保（ひと）、地域における多様な就業機会の創出（しごと）を一体的に推進する施策を示すものである。

◇計画期間

令和3年度（2021年度）から令和7年度（2025年度）までの5年間とする。

◇基本目標

1. 地域の稼ぐ力を高め、仕事と豊かな暮らしを創出し、市内外から人が集うまちを目指します。
2. 結婚、出産、子育ての希望や生活と調和した働き方を実現し、様々な人が子育てに関わり、次代を担う子どもを育むまちを目指します。
3. 生涯にわたり健康で、環境と共生しながら、安心して住み続けられる持続可能なまちを目指します。

◇基本目標と重要業績評価指標体系図

一関市の大きな課題である「人口減少」について、3つの基本目標を設定、そこから数値目標、施策展開の方向、数値目標の副指標を定め、施策分野ごとにKPIを定めている。

例

①基本目標

地域の稼ぐ力を高め、仕事と豊かな暮らしを創出し、市内外から人が集うまちを目指します

②数値目標

- ・転出超過数
- ・10代～30代の転出者数
- ・10代～30代の転入者数

③施策番号

1-1

④施策展開の方向

地域経済の強化

⑤数値目標の副指標

納税者1人当たりの所得額

⑥分野番号

1-1-1 農林業の振興

- ・地産地消モデル店認定数
- ・農商工連携開発事業補助金活用により6次産業化新商品開発件数
- ・市産材利用量

1-1-2 商工業の振興

- ・新製品・新技術開発件数
- ・市制度融資の新規利用者数

1-1-3 観光の振興

- ・観光客入込数
- ・外国人観光客入込数
- ・宿泊者数

数値目標の次に、副指標（事業ベースの指標）を定めることで、明確な目標を立てることが出来て、部局を超えた事業の関連性が見えやすくなっている。

4. 所感

人口減少という、目を背けられない課題について、行政だけではなく、市全体で取り

組んでいることがよくわかった。一関市では、市政が後戻りすることのないように平成20年度から「協働のまちづくり」を推進し、市民と行政の話し合いを続けており、地域ごとに円卓会議を開催し、市民一人ひとりが不満要求をいうのではなく、意見を集約する仕組みが出来ている。

流山市を見ると、事業の積み重ねにより、KPIが伸びていることは実感出来るが、そもそもの目的が果たされているかどうかはわかりにくい。また部局を超えた事業の関連性が見えにくいため、改善の方法がわかりにくい。事業のスクラップ&ビルドを進めていくためにも、目標を定めた上で、どんな報告で何をしていくのか、それをどのように図るのかを考えるような事業構築が必要だと考える。

旅費等支出内訳書

NO. 6

調査研究費

会派・交付議員名： 矢口輝美

実施日	R7.1.22
場所及び 視察項目	東京都小平市「小平市農業振興計画について」
参加者名	矢口輝美
費用合計	2,320円

※行政視察及び宿泊を伴う研修の場合は日程表を添付すること。

[illegible]

視察行程（矢口議員）

【日程表】 令和7年1月22日（水）

- ◆小平市役所(概ね10:00～11:30視察)
 - ・小平市農業振興計画について

◆往路（片道：1160円）

電車	電車	電車	徒歩
運河駅——	柏駅——	新松戸駅——	新小平駅——
7:47発	8:01着	8:15着	9:26
	8:07発	8:27発	9:30

小平市給食センター
9:50着

◆復路

	徒歩	電車	電車			
小平市給食センター	——	新小平駅	——	新松戸駅	——	柏駅
11:40発						

電車
——運河駅

運河→新小平 2025年01月22日(水)07:46出発

07:47発→09:26着 1時間39分(乗車1時間21分)



乗換: 2回

66km

① 現金優先: 1,160円 定期券 通勤: 1か月 35,420円 / 3か月 100,950円 / 6か月 185,510円

07:47		運河	乗車位置: [5両] 前 中 後 [6両] 前 中
5駅		東武アーバンパークライン 柏行 [発] 2・3番線 → [着] 2番線	210円
08:01着 08:07発		柏	乗車位置: [10両] 前 中
3駅		J R常磐線 代々木上原行 [発] 1番線 → [着] 2番線	950円
08:15着 08:27発		新松戸	
17駅		J R武蔵野線 府中本町行 [発] 3番線 → [着] 1番線	
09:26		新小平	

視察報告書

矢口輝美

1 視察期日

・令和7年1月22日(水)

2 研修地

・東京都小平市

3 調査事項

・小平市農業振興計画について

◇小平市農業振興計画

小平市の課題

- ①農家・農地の減少を止める
- ②農業の稼ぐ力の向上
- ③担い手の確保
- ④異業種との連携

施策

地産地消の促進を掲げ、プログラム（事業）として、小平産農作物の学校給食利用と食育推進プログラムを実施

- ①給食食材の規格・形状の情報交換と一次加工の検討
- ②生産者側と学校側の情報共有
- ③通年使用可能な農産加工品の開発・販売
- ④食育プログラムの充実
- ⑤学童農園の充実

◇小平市の学校給食と地場農産物利用促進への動き

(1) 学校給食の状況

小学校19校：全校で単独調理 10,855食×191回

中学校8校：共同調理場方式 4,758食×190回

(2) 地場農産物利用促進への取り組み

平成17年「地元野菜導入推進検討会議」

農産物導入を推進検討するため、関係課等（産業振興課、学務課、学校給食セン

ター、各小学校栄養士会代表)が参加

平成19年「小平市農のあるまちづくり推進会議」を設置

平成21年「小平市立小学校給食地場産農産物利用促進事業」実施

平成23年「地産地消推進事業」実施

関連事業として、市内公立小学校全19校において、農家及びJAの協力のもと、学童農園を開設

(3) 給食物資の購入について

小学校：生鮮食品は各校が契約した登録業者の中から先生、乾物、魚類、調味料等については献立研究部の担当者が見積もり合わせにより、納入する業者を決定。地場農産物の購入に関しては、各学校と農家が直接契約・納入する方式と、JAによる契約・納入形態との2通りがある

中学校：月1回、登録業者の入札により決定。生鮮食料品については見本の提出を求め、品質を確認したうえで購入。地場産農産物の購入に関しては、JA東京むさし小平支店、小平市野菜生産者クラブ、多摩有機農業研究会の各生産団体の協力を得ている

(4) 連携体制の構築に関する取り組み

JAと各小学校栄養士との連携を深めるため、学校給食で使用する食材の規格について目合わせ会や意見交換会を実施。学校現場と農家とが使用食材に関して共通認識を深めている。

◇小学校給食地場産農産物利用促進事業

小学校給食において、地場産農産物の納入を促進するため、市内農家の販路拡大を目的に給食食材に地場産の農産物の利用に応じて補助金を交付

補助対象経費（学期ごとに補助）

ア）市内の農家が市内の農地で栽培した農産物

イ）原材料の50%以上にその農産物を使用した加工品

地場野菜の使用率

小学校32.3% 中学校21%

使用品目（50種類）

赤カブ、赤たまねぎ、アスパラガス、うど、枝豆、オクラ、オレンジカリフラワー、柿、かき菜、かぶ、かぼちゃ、カリフラワー、黄人参、きゃべつ、きゅうり、空心菜、コールラビ、ごぼう、小松菜、小麦粉、さつまいも、さといも、さやいんげん、じゃがいも、しょうが、ズッキーニ、そらまめ、大根、大根の葉、たまねぎ、チンゲン菜、とうもろこし、トマト、長ネギ、ナシ、なす、にんじん、にんにく、のらぼうな、白菜、ピートン、ピーマン、ぶどう、ブロッコリー、ほうれんそう、モロッコインゲン、モロヘイヤ、八つ頭、ヤングコーン、ロマネスコ

◇地産地消推進事業

学校給食への地場産農産物の配送体制を整備することによって、学校給食の地場産農産物の利用の増大をすすめ、さらには市内飲食店を含めた市全体の地場産農産物の需要の拡大による地産地消を推進する

補助対象経費

- ア) 車両リース料及び燃料等維持管理費
- イ) 学校給食食材の配送に係る人件費
- ウ) 地産地消推進に向けたPR等経費

◇食育の取り組み

- ①給食時のおたよりやテレビ放送等を活用し、使用している地場農産物や地場農産物に関する指導の実施
- ②各教科（生活科・社会科・家庭科・総合的な学習の時間）などでの指導。
- ③市内共通メニュー（夏野菜カレー・冬野菜煮だんご）の実施
- ④生産者の方をお招きしたり、畑で取材し動画撮影を行い、紹介したり、子ども達と接する機会を実施

◇イレギュラーがあった際の対応について

- ①確実なキャンセル連絡
- ②青果店への協力依頼

4. 所感

まだ、食育という言葉がなかった平成17年に、小平市の子ども達に農業がどういうものかを知ってもらおうという農業基本構想から、学校給食に小平産のものを使用する取り組みがスタートしている。課題である配送の体制についてはJAに協力を依頼し、補助金を出すことによって農家に広め、今では80件を超える農家が野菜を納入している。また学校に対して補助金を出すことで、栄養士が積極的に地場産野菜を使用するような仕組みになっており、農家と栄養士の目合わせ会を行うなどして、相互理解を深めることで更に地場産野菜の使用促進されている。ただ、地元の業者（八百屋等）のことを考えると、納入率を更にあげていこうとは考えておらず、最大でも35%くらいを目安にしているとのことだった。

今後、流山市で地場産野菜を取り入れていく場合、課題となるのは農作物の発注管理、配送、受け入れ体制になる。民間企業との連携も必須になるので、それぞれが負担にならないように、無理のない形を構築する必要がある。

旅費等支出内訳書

NO. 7

調査研究費

会派・交付議員名: 矢口輝美

実施日	R7.1.27～R7.1.29
場所及び 視察項目	都城市「デジタル(オンライン)を活用した子どもの学びについて」 鹿児島市「ゼロカーボンに向けた取り組みについて」 霧島市「きりしまDX未来図の策定について」
参加者名	矢口輝美
費用合計	49,440円

※行政視察及び宿泊を伴う研修の場合は日程表を添付すること。

日付	項 目	内容(経路、等具体的に)	内 訳			領収証 (証憑) 番号	備 考
			単価	数	金額		
R7.1.23	交通費	1月27日分航空運賃羽田空港 (ANA603)→宮崎ブーゲンビリア空港	11,480円	1	11,480円	1	
R7.1.23	宿泊費	1月27・28日宿泊2泊分 リッチモンドホテル鹿児島天文館	9,000円	2	18,000円	1	
R7.1.23	交通費	1月29日分航空運賃 鹿児島空港(ANA628)→羽田空港	10,820円	1	10,820円	1	
R7.1.27	交通費	運河(東武)→柏(JR)→浜松町(モ ノレール)→羽田空港第2ターミナ	1,390円	1	1,390円	2	
R7.1.27	交通費	宮崎空港→西都城	1,760円	1	1,760円	3	
R7.1.27	交通費	西都城→天文館通	1,670円	1	1,670円	4	
R7.1.28	交通費	天文館→新照院	230円	1	230円	5	
R7.1.28	交通費	新照院→天文館	230円	1	230円	6	
R7.1.29	交通費	天文館通→国分	830円	1	830円	7	
R7.1.29	交通費	国分→鹿児島空港	1,640円	1	1,640円	8	
R7.1.29	交通費	羽田空港第2ターミナル(モノレール) →浜松町(JR)→柏(東武)→運	1,390円	1	1,390円	2	

視察(令和7年1月27日～29日)行程

行程		備考	
駅、視察先など	発着		
1日目:1月27日(月)			
羽田空港第2ターミナル	集合	7:15	
	発	7:55	ANA241(宮崎空港行き A321)
宮崎ブーゲンビリア空港	着	9:55	
	発	10:35	バス 西都城行き
西都城(都城市役所)	着	11:44	
【宮崎県都城市視察】 ・デジタル(オンライン)を活用した子どもの学びについて	13:30	15:00	都城市議会事務局 〒885-8555 宮崎県都城市姫城町6街区21号 電話:0986-23-7869 FAX:0986-25-7879
西都城(都城市役所)	発	16:05	JR日豊本線 普通 鹿児島中央行き
鹿児島	着	17:32	
	発	17:38	鹿児島市電2系統 普通 郡元行き
天文館通(宿泊先)	着	17:46	
◇宿泊先 【リッチモンドホテル鹿児島天文館】			〒892-0843 鹿児島県鹿児島市千日町14-28 TEL:099-239-0055 FAX:099-239-0011
2日目:1月28日(火)			
天文館(宿泊先)	発	13:14	鹿児島市交通局 [24]伊敷線 緑ヶ丘団地(鹿児島県)行き
新照院(視察先)	着	13:19	
【鹿児島県鹿児島市視察】 ・ゼロカーボンに向けた取り組みについて(かごしま環境未来館の現地視察)	13:30	15:00	鹿児島市議会事務局総務課 〒892-8677 鹿児島市山下町11-1 TEL:099-216-1450、ファクス:099-216-1452 かごしま環境未来館 〒890-0041 鹿児島市城西二丁目1-5 TEL:099-806-6666(代表) FAX:099-806-8000
新照院(視察先)	発	16:03	鹿児島市交通局 [24]伊敷線 水族館前(鹿児島県)行き
天文館(宿泊先)	着	16:09	
◇宿泊先 【リッチモンドホテル鹿児島天文館】			〒892-0843 鹿児島県鹿児島市千日町14-28 TEL:099-239-0055 FAX:099-239-0011
3日目:1月29日(水)			
宿泊先(天文館通)	発	11:40	鹿児島市電2系統 普通 鹿児島駅前行き
鹿児島駅(鹿児島駅前)	着	11:54	
	発	11:59	JR日豊本線 普通 国分行き
国分(視察先)	着	12:45	
【鹿児島県霧島市視察】 ・きりしまDX未来図の策定について (特に、「スリムな『eな市役所』の推進」について)	13:30	15:00	霧島市議会事務局 〒899-4394 鹿児島県 霧島市国分中央三丁目45番1号 TEL:0995-45-5111、FAX番号:0995-64-0923
国分(視察先)	発	15:51	きりしま11号 鹿児島中央行き ※適切な普通列車が無いため。
加治木	着	16:01	
	発	16:07	バス 鹿児島空港行き
鹿児島空港	着	16:28	
	発	17:00	ANA628(羽田空港行き B787-8)
羽田空港第2ターミナル	着・解散	18:35	

領 収 証

No. 036885

様

¥

10,500

内訳
10%対象

4,500

円 /

内消費税額

573

円

8%対象

円 /

内消費税額

円

但し

全額現金で支払ったこと
領収書に捺印したことを証明する
領収書に捺印したことを証明する

- ①現金
- ②クレジットカード
- ③振込

上記金額正に領収いたしました

領収書所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効となります。

印
紙

T-LIFE パートナーズ株式会社

松戸支店

〒271-0091千葉県松戸市本町18-4NDP松戸ビル6F

TEL 047-363-6191

FAX 047-362-6191

領収者印



登録番号 T4020001073907



運河→羽田空港第2ターミナル(東京モノレール・ANA利用)

2

2025年01月27日(月)始発

05:15発→06:51着 1時間36分(乗車1時間15分)

乗換：3回 63.3km

現金優先：1,390円 定期券 通勤：1か月 42,210円 / 3か月 120,320円 / 6か月 222,680円

05:15	運河	乗車位置：[5両] 前 中 後 [6両] 前 中
5駅	東武アーバンパークライン 船橋行 [発] 2・3番線 → [着] 3番線	210円
05:28着 05:35発	柏	乗車位置：[15両] 前 中 後
5駅	J R常磐・成田線快速 上野行 [発] 3番線 → [着] 3番線	660円
06:00着 06:03発	日暮里	乗車位置：[11両] 中 後
9駅	J R山手線外回り 上野・東京方面 [発] 10番線 → [着] 3番線	
06:21着 06:32発	浜松町	
3駅	東京モノレール空港快速(当駅始発) 羽田空港第2ターミナル行 [発] 情報なし → [着] 1・2番線	520円
06:51	羽田空港第2ターミナル(東京モノレール・ANA利用)	



2025年01月27日(月) 10:30出発

3

宮崎空港→西都城

10:35発→11:44着 乗換0回 所要時間1時間9分 1,760円

△10:35 出発	宮崎空港	1,760円
(1時間9分)	バス 西都城行き	
△11:44 到着	西都城	

©2024 駅探



2025年01月27日(月) 15:45出発

4

西都城→天文館通

16:05発→17:46着 乗換1回 所要時間1時間41分 1,670円

16:05 出発	西都城	きっぷ 1,500円
13駅 (1時間27分)	J R日豊本線 普通 鹿児島中央行き	
17:32着 17:32発	鹿児島	
(5分)	徒歩	
17:37着 △17:38発	鹿児島駅前	きっぷ 170円
5駅 (8分)	鹿児島市電2系統 普通 郡元行き	
△17:46 到着	天文館通	

©2024 駅探

地点検索 / 新着の時刻表

ルート・料金

時刻表

運行/渋滞情報

スポット

旅行/予約

お役立ち

地図を見る

トータルナビ | 電車乗換案内 | 定期代検索 | フリーバス乗換検索 | 海外乗換案内 | バス乗換案内 | 車ルート検索 | 複数目的地ルート比較 | タクシー料金検索 | 高速料金・高速道路地図 | 運転代行料金検索 | 自転車ルート検索 | トラックルート検索 | ビジネスパーソン向け通勤経路サービス | バイクルート検索

TOP > バス乗換案内 > バス乗換案内 天文館 ⇒ 新照院

出発 天文館 到着 新照院

再検索

2025年01月28日 13:00 出発 レンタカー検索

時刻表改正について | 運賃表示について | バス対応路線

13:14 発 ⇒ 13:19 着

所要時間: 5分

¥ 230 円

乗換 0 回

印刷

メール送信

カレンダー登録

ルート指摘

出発 13:14 天文館

周辺地図

時刻表

5分

鹿児島市交通局 [24]伊敷線 緑ヶ丘団地（鹿児島県）行

途中の停留所

運賃 230円

13:19 着 新照院

周辺地図

時刻表

周辺情報

ホテル

グルメ

住宅情報

バス停

駅

駐車場

レンタカー予約

新照院を出てからの徒歩ルート

周辺にあるスポットまでのルートを検索します。徒歩での移動に便利です。

■CO2排出量

約173g（概算）

メールで送る

他の移動手段でのルート

路線図

ルート・料金

- トータルナビ
- 電車乗換案内
- 定期代検索
- フリーバス乗換検索
- 海外乗換案内
- バス乗換案内
- 車ルート検索
- 複数目的地ルート比較
- タクシー料金検索
- 高速料金・高速道路地図
- 運転代行料金検索
- 自転車ルート検索
- トラックルート検索

時刻表

- 電車時刻表
- 新幹線時刻表
- 特急列車時刻表
- 飛行機時刻表/予約（国内線）
- 飛行機時刻表/予約（国際線）
- LCC時刻表・格安航空券予約
- 路線バス時刻表
- 高速バス時刻表
- 空港バス時刻表
- 深夜急行バス時刻表

運行・渋滞情報

スポット

- バス停検索
- 駐車場検索
- 予約駐車場検索
- バイク駐車場検索
- ガソリンスタンド検索
- 住所から探す
- ジャンルから探す
- イベント検索
- グルメスポット検索
- ウォーキングコース検索
- 施設名で探す
- 新規オープンスポット検索

旅行・予約

- 国内航空券予約
- 国内格安(LCC)航空券予約
- 海外航空券予約
- 新幹線・特急予約
- 国内ホテル予約
- レンタカー予約
- レンジャー・体験チケット検索/予約
- 旅行ガイド
- 旅行プラン

地点検索 / 新着の時刻表

ルート/料金時刻表運行/渋滞情報スポット旅行/予約お役立ち地図を見る

トータルナビ | 電車乗換案内 | 定期代検索 | フリーバス乗換検索 | 海外乗換案内 | バス乗換案内 | 車ルート検索 | 複数目的地ルート比較 | タクシー料金検索 | 高速料金・高速道路地図 | 運送代行料金検索 | 自転車ルート検索 | トラックルート検索 | ビジネスパーソン向け巡回経路サービス | バイクルート検索

TOP > バス乗換案内 > バス乗換案内 新照院 ⇒ 天文館

出発 新照院 到着 天文館 再検索

2024年11月25日 15:50 出発 レンタカー検索

時刻表改正について | 運賃表示について | バス対応路線

1 16:03 発 ⇒ 16:09 着 所要時間: 6分

¥ 230 円 乗車 0 回

印刷 | メール送信 | カレンダー登録 | ルート指摘

出発 16:03 新照院

周辺地図 | 時刻表

16:09 着 天文館

周辺地図 | 時刻表

周辺情報 | ホテル | グルメ | 住宅情報 | バス停 | 駅 | 駐車場 | レンタカー予約

天文館を出てからの徒歩ルート
周辺にあるスポットまでのルートを検索します。徒歩での移動に便利です。

■CO2排出量
約173g (概算)

メールで送る | 他の移動手段でのルート | 再検索

ルート・料金	時刻表	スポット	旅行・予約
トータルナビ 電車乗換案内 定期代検索 フリーバス乗換検索 海外乗換案内 バス乗換案内 車ルート検索 複数目的地ルート比較 タクシー料金検索 高速料金・高速道路地図 運送代行料金検索 自転車ルート検索 トラックルート検索	電車時刻表 新幹線時刻表 特急列車時刻表 旅行機時刻表/予約 (国内線) 旅行機時刻表/予約 (国際線) LCC時刻表・格安航空券予約 路線バス時刻表 高速バス時刻表 空港バス時刻表 深夜急行バス時刻表	バス停検索 駐車場検索 予約制駐車場検索 バイク駐車場検索 ガソリンスタント検索 住所から探す ジャンルから探す イベント検索 グルメスポット検索 ウォーキングコース検索 重宿舎を探す 新規オープンスポット検索 ドライブスルー/テイクアウト/デリバリー店舗検索	国内航空券予約 国内格安(LCC)航空券予約 海外航空券予約 新幹線・特急予約 国内ホテル予約 レンタカー予約 レジャー・体験チケット検索/予約 旅行ガイド 旅行プラン
運行・渋滞情報	鉄道運行情報		



2024年11月27日(水) 13:00到着

天文館通→国分(鹿児島)

7

11:40発→12:45着 乗換1回 所要時間1時間5分

830円

△11:40 出発	天文館通	きっぷ 170円
5駅 (14分)	鹿児島市電 2 系統 普通 鹿児島駅前行き	
△11:54着 11:54発	鹿児島駅前	
(5分)	徒歩	
11:59着 12:04発	鹿児島	きっぷ 660円
7駅 (41分)	J R 日豊本線 普通 国分行き	
12:45 到着	国分(鹿児島)	

©2024 駅探



2025年01月29日(水) 15:15出発

8

国分(鹿児島)→鹿児島空港

15:51発→16:28着 乗換1回 所要時間37分		1,640円
15:51 出発	国分(鹿児島)	きっぷ 230円
1駅 (10分)	きりしま11号 鹿児島中央行き	指定席：1,030円
16:01着 △16:07発	加治木	380円
(21分)	バス 鹿児島空港行き	
△16:28 到着	鹿児島空港	

©2024 駅探

視察報告書

矢口輝美

1 視察期日

- ・ 令和7年1月27日（月）～令和7年1月29日（水）

2 研修地

- ・ 1/27 宮崎県都城市
- ・ 1/28 鹿児島県鹿児島市
- ・ 1/29 鹿児島県霧島市

3 調査事項

- ・ デジタル（オンライン）を活用した子どもの学びについて
- ・ ゼロカーボンに向けた取り組みについて
(かごしま環境未来館の現地視察)
- ・ きりしまDX未来図の策定について
(特に、「スリムな『eな市役所』の推進」について)

① 1月27日（月）宮崎県都城市

GIGAスクール構想の実現に向けた都城市の取組と学校の変容
宮崎県都城市教育委員会学校教育課

【概要】

面積 653.36km²

人口 約16万人

小学校36校 中学校19校

児童生徒数 約14000人

【導入している端末】

Google for Education

Chromebook+Google Workspace

小1～小3：タブレット型端末

小4～中2：ノート型端末

* 移住政策の効果で児童数が増えているため予備機を追加で購入。生徒数×1.15で計算。

【整備状況】

- ・ 令和2～3年度

一人一台端末の整備

高速通信ネットワーク環境の整備

・令和4年度

AI型ドリル教材の導入

Google for Educationパートナー自治体に参画

持ち帰り用モバイルルーターの貸し出し（収入の制限あり。令和4年度は無償でテスト運用、令和5年度から月1000円、40家庭が契約中。本体は保険に入っているが、SIMの紛失の場合は本人負担。不要になった機器は学校でも使用中。）

ICT支援員の配置（学校ヘルプデスクの設置・基本的には、機器の故障の対応）

令和5年度

教師用端末【Chromebook】の導入

令和8年度に端末更新予定

【環境整備】

AI型ドリル教材 Qubena（キュビナ）予算6500万円（年間）

AIがつまづきを解析してくれる

【授業】

各教科において、一人一台端末を活用

家で撮影したお手伝いの写真の発表、道徳の授業で心情メーターを活用、マツ運動で自分の動きを自分で撮影、教科書にあるQRコードを読み取って動画を市長するなど）

【学校の変容】

資料のペーパーレス化

多くの教員とのデータ共有

学校CIO研修

教育長スクールミーティング（教育長から教職員への講話）

小中学生プレゼンコンテストの実施

令和3年～4年度は制限を求める声（YouTubeを使えないようにして欲しい。持ち帰らせないで欲しい。）が多かったが、令和5年～6年度は解除・活用の拡大を求める声（Chatを使わせて欲しい。校外学習に持ち出したい。）があがってきた

【教育研究所】

先生方を集めた組織で、所長は退職校長 目的は企画立案・市の課題についての研究

ICT教育研究班 教科の研究班など（個別最適な学び・教科横断・STEAM教育など）

参加希望者を研究職員として委嘱 時間外の手当を支給

月2回 木曜日18時～20時

【直面している課題】

学校間・教職員間の活用の格差

破損及び紛失による対応（弁償の線引き・保護者の理解）

【所感】

先生方が生き生きとチャレンジしている姿に感動した。教育長を中心に10年度の未来のために、今、何をすべきなのかを常に考えていることがよくわかった。特に教育研究所で研究をしている先生方をうまく育てていくことで、市内の学校全体のスキルもあがっていくと思う。常に工夫をしていくことが大事だと思う。

②かごしま環境未来館「ゼロカーボンに向けた取り組みについて」

【設置目的】

市民及び事業者が環境について関心や理解を深め、日常生活や事業活動において自発的に環境保全活動を実践するとともに、その活動の輪を広げていくことを促進するため、かごしま環境未来館を設置（平成20年10月10日開館）

【建物の理念】

1) 緑の台地「緑の創出」

・敷地全体を使い豊かな緑を創出し、地球温暖化やヒートランド現象などの対策に貢献する施設

・敷地全体を四季の変化を楽しめる潤いのある緑の広場とし、多くの人に親しまれる施設

・屋上を全面緑化し、緑にとけ込み、建物を主張しない施設

2) 自然との共生「自然の恵みを最大限に活用」

緑・・・屋上や建物周囲の緑化による空調効果

水・・・地下水や雨水の空調、散水などへの活用

空気・・・敷地全体の卓越風を取り込む建物配置

光・・・太陽の光を取り入れ、暖かみあふれる空間

【展示の構成】

ゾーン1 奇跡の星・地球

ゾーン2 地球はすでに限界を超えている

ゾーン3 私たちができること

ゾーン4 未来のために行動しよう

【経緯】

平成10年 市民・事業者・行政による協働の環境ワークショップを5回開催

平成12年 鹿児島市環境基本計画発表 具体的施策の中に「人を育みパートナーシップで築くまち」環境教育・学習の拠点施設の整備を発表

平成16年 基本構想・基本計画策定

平成20年 建物竣工

平成29年 リニューアル基本計画の検討

平成30年 リニューアル基本設計～実施設計

令和元年度 リニューアルオープン

【事業費】

約43億6000万円

(用地費：約22億2000万円 工事費など：約21億4000万円)

(財源：国庫補助39.5% 起債56% 一般財源4.5%)

【予算額】

指定管理者としての委託料 1億9645万円

施設管理・維持管理費として 3352万円

【管理体制】

指定管理者：公益財団法人かごしま環境未来財団

【運営の基本方針】

- ・パートナーシップで人と人がつながり、楽しみながら学び交流・参加する
- ・行動する人づくりやしくみづくりを市民等との協働で進め、その成果を発信する
- ・環境に配慮した生活や行動に踏み出すことを支援する
- ・環境保全活動に主体的に取り組む人材を育成する

【基本的事業】

- ・環境学習の推進に関する事業
- ・環境に関する情報の収集、提供及び発信に関する事業
- ・環境保全活動の支援に関する事業
- ・環境に関する市民等との協働の推進に関する事業
- ・環境学習施設などの管理運営に関する事業

【登録団体数】

鹿児島市や近隣都市で80団体の登録

【助成金の実施】

賛助会員（企業）から一口5000円×130社の会費から、助成金（上限7万円）を交付

【所感】

とても立派な建物で、毎年多額な指定管理料がかかっている。ただ、建設前に市民・事業者・行政による協働の環境ワークショップを実施しているなど、市民に理解をされているということはわかった。環境問題をじぶんごとにしていくのは難しいことだが、多くの児童がこの場所を訪れ、いろんな角度から学び考えられる素晴らしい施設だと思った。今後は生物多様性の分野を強めていきたいとのこと。市民活動団体のサポートも素晴らしく、いろいろな講座が実施されており、鹿児島市民の環境への理解を深めることに寄与していると思う。

③きりしまDX未来図の策定について

【概要】

霧島市：平成17年11月7日に1市6町の合併により誕生

国分・隼人地域は人口が増加しているが、他の5地域の人口は30年間で31%減。

【情シス部門】

霧島市のDXを推進するために令和4年度に情報政策課を分割し新設。

DX推進課：DX戦略グループ・情報化推進グループ

情報政策課：電算グループ・情報システムグループ

【第二次霧島市総合計画（後期基本計画）】

計画期間：令和5年度～令和9年度

基本理念：世界にひらく、人と自然・歴史・文化がふれあう都市

将来像：人にやさしく 人をはぐくむ 一人ひとりが輝きにぎわう 多機能都市

【きりしまDX未来図】

計画期間：令和5年度～令和7年度

基本理念：デジタル×きりしま 人とデジタルが織りなす田園都市

将来像：市民一人ひとりが安心して自分に合ったサービスを選択できるデジタル社会
スリムな自治体経営を実現できるデジタル社会 地域産業が持続的かつ健全な経済活動を実現できるデジタル社会 多様な働き方を選択できるデジタル社会

施策1 便利・簡単・安全な「eな行政」

- ・行政手続のオンライン化・
- ・デジタル・デバイド対策
- ・セキュリティ対策

施策2 スリムな「eな市役所」

- ・BPR（業務改革）の推進（RPA・AI-OCRの利用業務の拡大）
- ・電子決裁・ペーパーレスの推進
- ・デジタル人材の確保・育成（外部デジタル人材/CIO補佐官・行政デジタルアドバイザー 新規採用職員DX研修の実施 ワークショップ研修 きりしまDXだよりの発行）

施策3 地域の特性を活かした「eなきりしま」

- ・コンソーシアムの推進
- ・サテライトオフィス・ワーケーションの推進

【所感】

DXの推進のために、行政だけの目線にならないように、外部デジタル人材を登用（CIOは昨年度は毎週月曜火曜に登庁今年度は月の始めの月曜火曜に登庁・行政デジタルアドバイザーは1週間滞在）し、いろいろな課でヒアリングを行った結果、全体でDXの取り組みが進んだとのこと。外部の視点が大切だということが良くわかった。現在、全国で同じような課題に取り組んでいると思われるが、より大胆に変えていく覚悟が必要だと感じた。

旅費等支出内訳書

NO. 8

調査研究費

会派・交付議員名: 矢口輝美

実施日	R7.2.4～R7.2.5
場所及び 視察項目	岡山県津山市「城東重要伝統的建造物群保存地区における公民連携について」 岡山市高梁市「360度フィードバックの取り組み」
参加者名	矢口輝美 ※鈴木ゆうすけ議員も同行
費用合計	49,071円

※行政視察及び宿泊を伴う研修の場合は日程表を添付すること。

日付	項 目	内容(経路、等具体的に)	内 訳			領収証 (証憑) 番号	備 考
			単価	数	金額		
R6.12.10	交通費	羽田空港→岡山空港	12,140円	1	12,140円	1	
R6.12.10	交通費	岡山空港→羽田空港	12,140円	1	12,140円	2	
R7.2.4	交通費	運河(東武)→柏(JR)→浜松町(モノレール)→羽田空港第1ターミナル	1,390円	1	1,390円	3	
R7.2.4	宿泊費	高梁国際ホテル	10,200円	1	10,200円	4	
R7.2.5	交通費	羽田空港第2ターミナル(モノレール)→浜松町(JR)→柏(東武)→運河	1,390円	1	1,390円	5	
R7.2.5	交通費	レンタカー代(ガソリン代含)23622円	11,811円	1	11,811円	6	

視察行程（矢口議員）

【日程表】 令和7年2月4日（火）～5日（水）

◆津山市役所

テーマ

城東重要伝統的建造物群保存地区における公民連携について

担当課

観光文化部 歴史まちづくり推進室

参考HP

<https://www.city.tsuyama.lg.jp/article?articleId=65b39a76f6ce953f748cce80>

◆高梁市役所

テーマ

360度フィードバックの取り組み

◆2月4日

電車	電車	電車	飛行機
運河駅――	柏駅――	品川駅――	羽田空港駅――岡山空港
	5:52着	6:43着	7:19着
5:39発	5:57発	6:55発	8:05発
			9:30着

レンタカー

レンタカー

―――津山市役所―――	―――宿泊先
13:20着	17:00着
15:00発	

宿泊：高梁国際ホテル

716-0037 岡山県高梁市正宗町2033

0866-21-0080

◆2月5日

徒歩	レンタカー	飛行機
高梁国際ホテル――	高梁市役所――	岡山空港――
	9:50着	13:30着

9:45発

11:30発

14:10発

羽田空港——品川駅——柏駅——運河台駅

15:25着

16:27着

17:21着

17:44着

16:06発

16:35発

17:31発



Web 2fd99d55ade6917282ca715595ff68cf
2024年12月26日 16:15発行

領収書

下記の金額正に領収いたしました。

流山市議会議員 矢口輝美 様

金額 12,140円 (税込み)

但し	運賃・料金として
航空券/料金券番号	1312211965669
航空券/料金券発行日	2024年12月10日
発行所	日本航空
備考	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

消費税率：10%

この領収書は電子で発行しました。

日本航空株式会社

登録番号 T7010701007666

ご利用旅程・運賃・料金明細

ヤグチテルミ 様

2025年2月4日 (火)

運賃 スペシャルセイバー

08:05 東京 (羽田)

クラス 普通席

12,140 円

09:30 岡山

機体 JAL231

※ご搭乗済みの区間は表示されていない場合がございます。

合計金額 12,140円

領収書

WEB f0497599a6-XKBD5-215607-0-1000

表示日 2025年02月13日(木)

流山市議会議員 矢口輝美

様

2

金額

¥12,140- (税込)

クレジット支払い

(消費税10%対象 ¥12,140- (税込))

航空券番号

1010421832565014

照会番号

QJ3XLF

但し

運賃および税金・料金等

航空券発行日

2024年12月10日(火)

上記、正に領収いたしました。



A STAR ALLIANCE MEMBER

全日本空輸株式会社 All Nippon Airways Co., Ltd.

登録番号: T1010401099027

航空券明細

WEB f0497599a6-XKBD5-215607-0-1000

表示日 2025年02月13日(木)

ご搭乗者名/照会番号

ヤグチ テルミ様

(QJ3XLF)

搭乗日

便名

区間

クラス

運賃

運賃額等(税込)

運賃適用基準日

2025年02月05日(水)

ANA656

岡山 - 東京(羽田)

普通席

スーパーバリュー55

¥12,140-

2024年12月10日(火)

合計金額

¥12,140-



3

運河→羽田空港第1ターミナル(東京モノレール・JAL利用)

2025年02月04日(火)始発

05:39発→07:06着 1時間27分(乗車1時間12分)

乗換：3回 62.5km

現金優先：1,390円 定期券 通勤：1か月 42,210円 / 3か月 120,320円 / 6か月 222,680円

05:39

運河

乗車位置：[5両] 前 中 後 [6両] 前 中

5駅

東武アーバンパークライン 柏行 [発] 2・3番線 → [着] 1番線

210円

05:52着
05:57発

柏

乗車位置：[15両] 前 中 後

8駅

J R常磐線(上野東京ライン) 品川行 [発] 3番線 → [着] 1番線

660円

06:38着
06:41発

新橋

乗車位置：[10両] 中 後

06:43着
06:50発

浜松町

J R京浜東北・根岸線 桜木町行 [発] 3番線 → [着] 4番線

2駅

東京モノレール空港快速(当駅始発) 羽田空港第2ターミナル行
[発] 情報なし → [着] 2番線

520円

07:06

羽田空港第1ターミナル(東京モノレール・JAL利用)

明細書兼領収書
STATEMENT高梁国際ホテル
TAKAHASHI KOKUSAI HOTEL
〒716-0037 岡山県高梁市正宗町2033
TEL.0866-21-0080
FAX.0866-21-0075

お部屋番号 ROOM	お名前 NAME (Mr. Mrs. Miss)					
0404	流山市議会議員 矢口 輝美 様					
ご到着 ARRIVAL	ご出発 DEPARTURE	発行日 BILL ISSUED	大人 ADULT	小人 CHILD	幼児 INFANT	PAGE
2025/02/04	2025/02/05	2025/02/04	1			1

日付 DATE	部屋 ROOM	摘要 EXPLANATION	金額 AMOUNT	消費税 CON. TAX	お支払 CREDIT
02/04		クレジット ご宿泊代	10,200		10,200
小 計 SUB TOTAL			10,200		10,200

請求先 CHARGE TO	ご請求金額	0
	TOTAL BALANCE	
	(10% 対象 内消費税	10,200 927)
ご署名 SIGNATURE	BILL No. 2250200000011-K 担当 CASHIER 133 PD	

羽田空港第2ターミナル(東京モノレール・ANA利用)→運河

2025年02月05日(水)16:03出発

16:08発→17:44着 1時間36分(乗車1時間16分) 乗換：3回 63.3km

現金優先：1,390円 定期券 通勤：1か月 42,210円 / 3か月 120,320円 / 6か月 222,680円

16:08	羽田空港第2ターミナル(東京モノレール・ANA利用)	乗車位置：[6両] 中
3駅	東京モノレール空港快速(当駅始発) 浜松町行 [発] 1・2番線 → [着] 情報なし	520円
16:27着 16:32発	浜松町	乗車位置：[10両] 前 中 後
	J R 京浜東北・根岸線 大宮行 [発] 1番線 → [着] 6番線	660円
16:35着 16:40発	新橋	乗車位置：[15両] 前 中 後
8駅	J R 上野東京ライン 高萩行 [発] 2番線 → [着] 4番線	
17:21着 17:31発	柏	
5駅	東武アーバンパークライン(当駅始発) 大宮行 [発] 2番線 → [着] 情報なし	210円
17:44	運河	

令和7年2月5日

費用分担合意書

令和7年2月4日（火）～2月5日（水）に実施した岡山県津山市・岡山県高梁市視察に係る費用分担について、以下の通り確認の上、合意する。

1. 費用分担する費用

公共交通機関利用時以外に発生する交通費（レンタカー代・ガソリン代）

2. 費用分担の基本的な考え方

各々にとって有益な視察内容であることから視察に同行し、その際にかかる交通費を按分するもの。

なお、按分額に1円未満の端数が生じた場合は、矢口議員側が切り上げ、鈴木議員側が切り捨てとする。

また、当該費用の政務活動費における支出に際しては、本文書の写しを添付することで証憑の代わりとする。原本は議会事務局において保管することとする。

3. 具体的な費用分担について

日付	内容	按分額		合計額	領収証 (証憑) 番号
		鈴木 ゆうすけ	矢口 輝美		
R7.2.5	レンタカー代（ガソリン代を含む）	11811	11811	23622	1

4. 領収証

別紙

鈴木 ゆうすけ



矢口 輝美



①

領 収 証

No 566023

2025 年 2 月 5 日

ニッポンレンタカー中国株式会社

登録番号 T924000000082001

流山市議会議員

鈴木 かつむね 様

領収額	¥	2	3	6	2	2
-----	---	---	---	---	---	---

入金区分

① 現金 2 振込 3 小切手 ④ クレジット

印 紙

上記の金額正に領収致しました。

内 訳	金 額 (税込)	消費税額等
10%対象	23622 円	2147 円
0%対象	円	-
%対象	円	!

使用区分

① レンタル料 2. 事故金 3. その他 ()

RNo. J2S32745
事故受付番号

(本領収証に社印・担当社印のないもの及び金額を訂正したものは無効です。)

担当者

(お客様控)

法令に基づき、合計利用金額(税込)から消費税額を再計算しています。



$$23,622 \times \frac{1}{2} = 11,811$$

視察報告書

矢口輝美

1 視察期日

- ・ 令和7年2月4日（月）－令和7年2月5日（火）

2 研修地

- ・ 2/4 岡山県高梁市
- ・ 2/5 岡山県津山市

3 調査事項

調査項目

1. 旧荻田家付属町家群整備事業

【地区の概要】

人口：約9.6万人（県内3番目の都市）＊平成の大合併の際は約11.2万人

面積：約500km²＊地域の70％が山林

予算：500億円＊企業誘致に成功

職員：約800人

【津山市の重伝建地区の取り組みについて（城東地区・城西地区）

説明者：観光文化部 歴史まちづくり推進室 兼 文化課

廣瀬幸子主任（一級建築士）

【保存地区の概要】

平成25年8月7日選定 城東地区（商家町）

津山市城東伝統的建造物群保存地区は、城下町の町人地として出雲往来沿いに発展した街並みで、江戸時代初期に形成された地割がよく残っている。出雲従来に面して、江戸時代の町屋を主体として昭和戦前期までに建築された主屋は、切妻、平入りを基本としたつし2階建てとし、出格子窓、虫籠窓、なまこ壁、袖壁を使用した優れた意匠の伝統的建築物が建ち並び、城下町に形成された商家町の歴史的風致をよく伝えている。

＊城東地区の中で残していく古民家については、全戸をリスト化し、固定資産税上で調査、奈良文化財研究所に悉皆調査を依頼、残していくべき候補物件を選定、所有者の同意を得られたものが現在の選定物件。もともとは平成初期に行政主導で重伝建を進めて行こうとしていたが同意が得られず、30年経って後継ぎがないという課題

を抱えた地域の方から同意を得られるようになった。行政が事務手続きを行ってはい
るが、基本的に同意書は地元（保存団体）で取りにいただいている。

令和2年12月23日選定 城西地区（寺町・商家町）

津山市城西伝統的建造物群保存地区は、津山城下町の西部に成立、発展した寺町及び
商人町である。出雲従来を軸とした近世以来の地割の姿を良く保存し、寺町は江戸時
代の様相を伝える伽羅とともに、慶長期以降各時代、各宗派の寺院建築が良く残る。
また、商家町は、往来沿いに近代の発展を示す伝統的な町屋が連続して残る。

【糺やの事例】

平成25年 重伝建選定を目指している時期に、所有者から解体の話が浮上したた
め、旧苅田家＋付属町屋群の土地、建物を取得、城東地区の便益施設として整備の検
討を開始。

平成27年 地方創生事業として計画をスタート

平成29年 宿泊施設の改修設計スタート（当初は委託または指定管理を想定）

平成30年 事業方針の見直し＊市長交代・総合計画の見直し・運営手法の再検討

庁内プロジェクトチームを結成

①歴史まちづくり推進室：施設所管・工事・事務手続き担当

②財産活用課：公民連携担当

③行革推進室：指定管理・PFI法担当

運営スキームの比較をし、メリットの共有、庁内の合意形成へ。

【コンセッション方式】

江戸期の古民家をリノベーションすることで一棟貸しのホテルへ

運営事業者の先付け＋民間事業者が収益を最大化＋できるだけ長時間の運営＋将来の
財政負担を最小化が可能なコンセッション方式を採用

【津山市歴史的建造物の保存及び活用に関する条例】

江戸期の古民家を取得したものの（上物は寄付、土地は買収）、法令上の規制があっ
たため、構造的制限、内装制限、階段、天井高など適用除外可を目的に平成29年1
0月に津山市歴史的建造物の保存及び活用に関する条例を施行。建物の歴史的な良さ
を生かした活用を可能にした。

【町並み保存の手引き】

許可基準（地区内で最低限守らなければいけない基準）

修理基準（伝統的建造物を修理等するための基準。補助の対象）

修景基準（伝統的建造物以外の建造物で、補助の対象となる基準）

道路に面して建物がギリギリに建っており、所有者が違っていても軒は繋がっている
のが特徴で修理については、細かなルールが設けられている。また、地区に住んでい

る方にも景観区域のルールがある。ただし税金の優遇はあり。地区にマンションはなく、アパートが1軒あるが外観は街並みに合わせてリフォームをさせていただいている。

＊住宅よろず相談（建築士会が相談人）の実施

【防災設備整備事業】

城東重伝建地区については、平成30年度「津山市伝統的建造物群保存地区防災計画」を策定、地区内の町内会支部へ補助金を交付し、連動式火災報知器を設置を行っている。街角消火栓も設置している。

【住民の取り組み】

連合町内会城東支部で、観光部会・イベント部会などに分かれて取り組みを実施。

（例：令和作州城東むかし町 洋学者箕作玄甫に関するイベントやお土産開発 城東朝市などを開催）

【効果】

建物の修理も進み、空き家の解消も進んだ

城東地区：重伝建選定後17軒出店（うち13軒は空き家）、7件移住

【課題】

特に城西地区は社寺建築群が多いため、伝統工法の建物に対応できる設計者施行者がいないこと、檀家が減っているため、自己負担分を捻出するの難しい社寺もある。

【所感】

どのような町にしていきたいのか。行政の目論見と地域の希望などが合わさって出来た取り組みだと思った。どこまで行政が担って、どこから地域に任せるといような分け方ではなく、行政が手伝いながら、地域が自分たちでどのようなまちづくりをしていきたいのかを導き出している。結局は住んでいる人達が、自分たちの住んでいる町をどうしたいのかを決めて進めていくことが大切なのだと思う。

コンセッション方式に関してはサウンディングの取り組み方から、ちゃんと近い未来を想定しながら進めており、最終的にうまくいく形になったのと思う。宿泊施設を営業するのは簡単なことではないし、コンセッションは長期の契約になるので、しっかり業者を選ぶ必要があることが良く分かった。

調査項目

2. 岡山県高梁市における360度フィードバックの取り組み

【概要】

人口：約26,027人（平成16年新設合併時は36,000人だった）

面積：約550km²

職員数：1,082名（正規職員：612名 会計年度任用職員：470名）

【人材確保・人材育成の取り組み】

令和5年度より総務課に「人財育成係」を新設、職員を高梁市の財産だと位置づけた。人財育成係の下に感動担当2名を置き、感動が人を動かす取り組みをスタート。（サイボウズの取り組みを参考にしたもので、元々は管理職をもっと元気にするため、メンタル不調になる職員を少なくするために始めたもの）

・採用：人材確保競争の激化により、若手の中途退職が増加。積極的なリクルート活動を行うこと、採用内定式を実施することで内定者をつなぎとめている。

・人材育成：行政課題の複雑化・高度化に伴い、個々の職員に求められる知識、スキルが細分化されている。またコミュニケーションの機会が現象し、職員同士のつながりが希薄化。Eラーニングでの研修、ストレングスファインダー研修、ありがとうプロジェクトなど、職員のスタッフプライドの醸成につとめている

・人事評価：公平・公正な評価制度の実施のため、国準拠の人事評価制度の正式導入&賃金リンクをスタートさせている

【360度フィードバックとは】

一人の職員に対して、様々な関係者が評価・助言を行う評価手法のこと
上司や人事担当者だけでなく、同僚や部下も評価に参加することで客観性が向上し、納得感が高まるのが特徴
対象者に「自己認識」と「他者認識」のギャップを提示し、気づきを与えることで行動変容を促し、人財育成や風通しの良い組織づくりにも大きな効果を発揮する

【導入の目的】

①管理職の育成（マネジメント能力の向上）

部下・同僚職員などからのフィードバックによって、自身のマネジメントを客観的に認識できるきっかけ（気づき）や刺激を受けることで、管理職自身の行動や意識改革の契機として、更なるマネジメント能力の向上や風通しの良い職場風土の醸成・改革を図ることを目指す

②人事評価制度の補完

「成果評価」と「行動評価」を組み合わせることで、評価者・被評価者が互いに普段の行動を評価することで、人事評価に対する納得感の向上を目指す

*人事評価制度の職員アンケートから、部下職員層の意見として「上司から一方的に評価されるだけではなく、上司を評価する機会を与えて欲しい」という声が多く寄せられていた

【導入まで】

①先行する国・自治体への聞き取り

②360度フィードバック機能のみ・人事担当者への負担が少ない・財政的な負担が少ないものを条件に検討

③令和4年度から導入

【事後アンケート】

被評価者（係長級以上）8割以上の職員が満足～普通と回答

- ・自身のマネジメントに関する客観的な評価を初めて受けることができた
- ・イメージしやすい質問項目なので回答しやすかった
- ・周囲からどう見られているかを知れて良かった

評価者（主任・主事級以上）8割以上の職員が満足～普通と回答

- ・上司の評価をすることで内省につながった
- ・回答しやすい質問項目だった
- ・操作性が良く、わかりやすかった

【その他の取り組み】

職員の異業種交流会の実施

組織の意識調査の実施

若手職員と市長が話す会の実施

未来作りカレッジ（有料の勉強会）

メンター制度

【所感】

ありがとうカード等、感動担当の取り組みの効果か、職員一人一人がとても生き生きと仕事をされていた。高梁市の人口減少の問題と、高梁市役所で働きたいという職員が少なくなっていることに対して、どのような対策をしていけば良いのか、いろいろな策を講じながら努力していることが良く分かった。高梁市を選んで、ここで働きたいという人を増やすためにも、人材育成の取り組みはとても大切であることが良く分かった。

旅費等支出内訳書

NO. 9

調査研究費

会派・交付議員名： 矢口輝美

実施日	R7.2.6
場所及び 視察項目	世田谷中学校 「自閉症・情緒障害特別学級での取り組みについて」
参加者名	矢口輝美
費用合計	2,040円

※行政視察及び宿泊を伴う研修の場合は日程表を添付すること。

[illegible]

視察行程（矢口議員）

【日程表】 令和7年2月6日（木）

- ◆世田谷中学校(概ね10:30～12:30視察)
 - ・ 自閉症・情緒支援学級の取り組みについて

◆往路（片道：1020円）

電車	電車	電車	電車	
運河駅——	柏駅——	北千住駅——	代々木上原駅——	梅ヶ丘駅
8:30発	8:43着	9:08着	9:49着	9:58着
	8:51発	9:12発	9:52発	

徒歩

——世田谷中学校
10:20着

◆復路

世田谷中学校——運河駅
12:40発

同じ経路で帰宅



運河→梅ヶ丘 2025年02月06日(木)08:30出発

08:30発→10:01着 1時間31分(乗車1時間16分) 乗換：2回 53.8km
現金優先：1,020円 定期券 通勤：1か月 35,620円 / 3か月 101,550円 / 6か月 185,110円

08:30	運河	乗車位置：[6両] 前中
5駅	東武アーバンパークライン 柏行 [発] 2・3番線 → [着] 1番線	210円
08:43着 08:51発	柏	乗車位置：[15両] 前中
2駅	J R常磐線快速 上野行 [発] 3番線 → [着] 3番線	410円
09:08着 09:15発	北千住	
21駅	東京メトロ千代田線 成城学園前行 [発] 1番線 → [着] 1番線	400円
10:01	梅ヶ丘	

視察報告書

矢口輝美

- 1 視察期日
・令和7年2月6日（金）
- 2 研修地
世田谷中学校 自閉症・情緒障害特別学級
- 3 調査事項
自閉症・情緒障害特別学級での取り組みについて

教育目標（通常級・特別支援学級共通）

（1）学校の教育目標

自律 自らを考え、判断し、行動できる生徒
寛容 違いを理解し、他者を尊重する生徒
創造 豊かな発想をもち創意工夫をする生徒

特別支援学級の教育の目標

- ・情緒の安定を目指し、社会適応力を高める
- ・基礎学力・運動能力・コミュニケーション能力の向上を図る
- ・自分の特性を理解し、他者に助けを求める力を育成する

学級の教育目標を達成するための重点目標

◎「幸せに生きる力を育てる」

「幸せになるために学び、また学ぶことで幸せになる」を実現させる

そのため下の3条件を目指した教育活動をデザインする。

- ①生徒が「夢を実現したい」と思ってその学習・活動をしている
 - ②生徒が「自分の可能性を伸ばしたい」と思ってその学習・活動をしている
 - ③生徒が「人の役に立ちたい」と思ってその学習・活動をしている
- ◎「障害」ではなく「特性」として理解し、それを生かして（高い自尊感情をもって）社会で活躍できる人材を育成する。
- ◎地域社会、大学、企業連携・協働した教育を推進する。

特別支援学級I組

学級主任1名＋各学年担任3名＋サポート教員
チームで子ども達をサポートしている

＊防音部屋とスヌーズレン

子ども達が大きな声を出したくなった時は、防音部屋で叫ぶことが出来る。（カラオケをしたいという子がいた時に、放送室からスタンドマイクを借りて、iPadを使ってカラオケをした所、場面緘黙のお子さんが人前で歌えるようになった）

のんびりしたくなった時には、スヌーズレンに入る（予約表があり、自分で入りたい時間を予約することも出来る）

＊チームでサポート

先生方が一人一人をチームでサポート、子ども達がやりたい事を引き出し、やりたいことにとことんチャレンジする

＊助成金の活用

学級主任が様々な助成金を活用し、子ども達の多様な学びをサポートしている

＊民間との連携

子ども達のやりたいことをサポートするために、様々な民間と連携している

4. 所感

特別支援学級の取り組みは、通常級の子ども達と同じような授業をして少しでも勉強を出来るようにするものではなく、一人一人が生きていくチカラ、幸せになるチカラをつけるためのもの。日々の子ども達の成長の様子を先生方が一つ一つ喜んでいることが伝わった。【特別支援学級にこそ夢がある！】、【特別支援学級で出来ることは、通常級でも出来る】。まさにその通りだと思う。幼稚園、保育園での障害児受け入れがスタートし、今後特別支援学級の児童生徒数が増加することが予想される流山市、新しい特別支援学級の取り組みを後押ししていきたい。

研 修 費

研修費支出合計 101,723円

年 月 日		内 容	金 額	旅費等支出 内訳書番号
自	至			
R6.10.28	R6.10.29	東日本大震災遺構を巡り防災・減災について 学ぶ研修	63,763円	1
R7.2.22	R7.2.23	「地方自治とこども施策」全国自治体シンポジ ウム	31,560円	2
R7.3.23	R7.3.23	インクルーシブ教育フェスティバル	6,400円	3

旅費等支出内訳書

NO. 1

研修費

会派・交付議員名: 矢口輝美

実施日	R6.10.28～R6.10.29
場所及び視察項目	東日本大震災遺構を巡り、防災・減災について学ぶ研修
参加者名	矢口輝美 ※鈴木ゆうすけ議員と同行
費用合計	63,763円

※行政視察及び宿泊を伴う研修の場合は日程表を添付すること。

日付	項目	内容(経路、等具体的に)	内 訳			領収証 (証憑) 番号	備 考
			単価	数	金額		
R6.9.28	交通費	大宮→仙台	7,240円	1	7,240円	1	
R6.10.27	交通費	一ノ関→大宮	8,460円	1	8,460円	2	
R6.10.28 R6.10.29	交通費	運河⇄大宮	490円	2	980円	3	
R6.10.28	参加料	大川小学校 震災遺構見学	2,000円	1	2,000円	4	
R6.10.28	宿泊費	10月28日宿泊分 網元の宿 磯村	16,500円	1	16,500円	5	
R6.10.29	参加料	東日本大震災遺構を巡り防災・減災について学ぶ研修	10,000円	1	10,000円	6	
R6.10.28	交通費	高速代 仙台東→鳴瀬奥松島本線 1080円	540円	1	540円	7-1	鈴木議員と按分
R6.10.29	交通費	レンタカー32780円	16,390円	1	16,390円	7-2	鈴木議員と按分
R6.10.29	交通費	ガソリン代3306円	1,653円	1	1,653円	7-3	鈴木議員と按分

2024 三陸沿岸復興状況視察 行程表

【1日目】 9:00仙台駅集合

- ・日和山公園（ひよりやまこうえん） 0225-95-1111
- ・みやぎ東日本大震災津波伝承館、0225-98-8081
- ・石巻市震災遺構 門脇小学校、0225-98-8630
- ・女川町海岸広場
- ・雄勝観光物産交流館 おがつたなこや、0225-25-6844
- ・震災遺構 大川小学校、0225-24-6315
- ・震災遺構 ブライダルパレス高野会館
- ・志津川駅
- ・（赤崎海岸：小泉海水浴場）
- ・網元の宿 磯村、0226-24-1133

【2日目】 9:00ホテルフロント集合

- ・気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザ、0226-25-8591
- ・気仙沼お魚いちば、0226-29-6233
- ・気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館 (旧気仙沼向洋高校)、0226-28-9671
- ・道の駅 大谷海岸（おおやかいがん）、0226-28-9671
- ・要谷漁港（ようがいぎょこう）、
- ・陸前高田市子育て支援センター あゆっこ、0192-55-6261
- ・東日本大震災津波伝承館（いわてTSUNAMI(つなみ)メモリアル）、0192-47-4455
- ・津波の追憶、岩手県大船渡市三陸町吉浜上野1番地の1
- ・ニッポンレンタカー一関営業所、050-1712-2910

18:00 一関駅解散

発行日 2024年11月04日19時46分
発行番号 No.E056800133953481028

えきねっと ご利用票兼領収書
下記の金額を、確かに領収しました。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号：T9011001029597

宛名 流山市議会議員
矢口 輝美 様

金額 ¥7,240(税込10%) クレジットカード利用(カード番号下4桁: XXXXXXXX)

但し きっぷのご購入代金として

きっぷの明細

予約番号 E05680

購入日 2024年09月28日

乗車日 2024年10月28日

列車名・区間 ○やまびこ5 1号指定席(乗車券込み)
大宮 → 仙台

ご利用人数 おとな1名

発行日 2024年11月04日19時46分
発行番号 No.E560310133953481029 2

えきねっと ご利用票兼領収書
下記の金額を、確かに領収しました。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号：T9011001029597

宛名	流山市議会議員 矢口 輝美 様
金額	¥8,460(税込10%) クレジットカード利用(カード番号下4桁: XXXXXXXX)
但し	きっぷのご購入代金として
きっぷの明細	
予約番号	E56031
購入日	2024年10月27日
乗車日	2024年10月29日
列車名・区間	○やまびこ 6 6 号指定席(乗車券込み) 一ノ関 → 大宮
ご利用人数	おとな1名

運河→仙台 2024年10月28日(月)始発

05:26発→07:58着 2時間32分(乗車2時間18分)



乗換: 1回

354.7km

現金優先: 10,510円 (乗車券6,210円 特別料金4,300円)

05:26 運河

乗車位置: [5両] 前 [6両] 前

18駅



東武アーバンパークライン 大宮行 [発] 情報なし → [着] 1・2番線

490円

06:15着
06:29発

大宮(埼玉県)

4駅



J R新幹線やまびこ51号 盛岡行 [発] 17番線 → [着] 11番線

自由席: 4,300円

5,720円

07:58 仙台

$$490 \times 2 = 980 \text{ 円 (往復)}$$

領 収 書

やぐち てる美 様

大川小学校ガイド料金 として、

下記のとおり、領収いたしました。

¥ 2,000

2024 年 10 月 28 日

Team 大川 未来を拓くネットワーク

代表 只野 哲也



OK NETWORK

請求・明細書

RECEIPT

網元の宿 磯村

5

宮城県気仙沼市幸町四丁目1-31

TEL:0226-24-1133 FAX:0226-24-1149

No. 35846

お名前 GUEST NAME		流山市議会議員 矢口 輝美 様			
お部屋番号 ROOM NO.	ご到着日 ARRIVAL DATE	ご出発日 DEPARTURE DATE	ご人数 PERSON(S)	ご休憩 PERSON(S)	係り CLERK
201	2024/10/28	2024/10/29	1	0	
日付 DATE	項目 DESCRIPTION	数量 QUANTITY	単価 UNIT PRICE	御料金 CHARGES	備考 REMARKS
2024/10/28	宿泊代	1	16,500	16,500	
	-----宿泊小計-----			16,500	
	-----総計金額-----			16,500	
	(内 標準税率対象)			16,500	
	(内消費税)			1,500	
	(内 10%消費税)			1,500	
	-----総入金額-----			0	
	-----差引請求額-----			16,500	
	登録番号 T1370502000988				

領 収 書 RECEIPT

No. 35846 2024 年 10 月 28 日

お名前
GUEST NAME 流山市議会議員 矢口 輝美 様

網元の宿 磯村

宮城県気仙沼市幸町四丁目1-31

TEL:0226-24-1133 FAX:0226-24-1149

総合計 16,500 円也

クーポン・前受金 0 円

差引領収金額 16,500 円

領 収 書

流山市議会議員 矢口 輝美 様金 10,000 円 (税込)

但し、「東日本大震災遺構を巡り防災・減災について学ぶ研修」参加費として

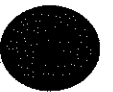
上記の通り、領収いたしました。

令和6年10月29日

〒274-8501

千葉県船橋市習志野台 7-24-1 日本大学理工学部

海洋建築工学科 教授 星上 幸良



令和6年10月29日

費用分担合意書

令和6年10月28日（月）～29日（火）に実施した「東日本大震災遺構を巡り防災・減災について学ぶ研修」に係る費用分担について、以下の通り確認の上、合意する。

1. 費用分担する費用

公共交通機関利用時以外に発生する交通費（レンタカー代・高速代・ガソリン代）

2. 費用分担の基本的な考え方

各々にとって有益な研修内容であることから研修に同行し、その際にかかる交通費を按分するもの。

また、当該費用の政務活動費における支出に際しては、本文書の写しを添付することで証憑の代わりとする。原本は議会事務局において保管することとする。

3. 具体的な費用分担について

日付	内容	按分額		合計額	領収証 (証憑)番号
		鈴木 ゆうすけ	矢口 輝美		
R6. 10. 28	高速代	540	540	1080	1
R6. 10. 29	レンタカー代	16390	16390	32780	2
R6. 10. 29	ガソリン代	1653	1653	3306	3

4. 領収証

別紙

鈴木 ゆうすけ

矢口 輝美

ご利用ありがとうございます。

宮城県道路公社

料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 鳴瀬奥松島本線

鳴瀬奥松島本線
TEL 0225-87-3931

24年10月28日 9時18分

車種 普通

通行料金 ¥1,080-

※通行料金の消費税率は10%です

(現金)

—入口料金所— 仙台東

ETCなら小銭不要。各種割引もあります。

便利でお得なETCをぜひご利用下さい。

登録番号: T5370005001613

取扱番号212-00990856-00

$$\rightarrow 1,080 \times \frac{1}{2} = 540A$$

$$32,780 \times \frac{1}{2} = 16,390$$

(2)

4



領 収 書

No 060702

2024 年10月29 日

流山市議会議員 やくち 美 様

領収額 ¥ 32,780 -

領収種別 (現金・小切手・クーポン・振込・クレジット・NBM)

R_NO: F2A56691

但し 1:代り

税別50,000円
以上は印紙
貼付のこと 印

ニッポンレンタカー東北株式会社

(本社) 〒980-0014 仙台市青葉区本町二丁目1番30号

電話 050-1712-2956

(登録番号 T7370001011168)

発行営業所	扱 者
一 関	

(税込金額)

10% 32,780- 円

0% 2,980- 円

(消費税額等)

10% 2,980- 円

0% 円

上記金額正に領収致しました

支払人ご署名

$$3306 \times \frac{1}{2} = 1653$$

(3)

4

ENEOS

納品書(領収書)

毎週日曜日 定休日
2024年10月29日 17:35

売上: 工力: 社会 様 M

6-301950 19991-000

現金会社

車両番号

0110-00

レギュラーガソリン

19.00L

P-05

*

¥3,306

174円

(内ガソリン税53.80円

¥1,022)

合計 ¥3,306

(消費税10%対象

内消費税等

¥301)

釣銭 1万:6694 5千:1694 4千:694

カード番号: XXXXXXXXXX

カード番号: XXXXXXXXXX

ポイント:基本P

9 P

特別P

9 P

今回計

9 P

利用ポイント

28P

利用可能ポイントは2~3日

本日付与されたため、有効期限切

目以降に反映されます。有効期限切

等の理由で、カードにポイントが

加算されないことがあります。

詳細はwww.tsite.jpにてご確認下

さい。

現金で支払った場合は領収書1枚とご請求書を

東住地株式会社 イースト一関5
岩手県 一関市
三関字神田158-1
TEL: 0191-23-6262 SS-301958
登録番号: T5400501000016
シートNo 3727-03H 7 No0592-0594
0014 2024/10/29

研修報告書

矢口輝美

1 研修期日

令和6年10月28日（月）～29日（火）

2 研修地

3 研修事項

東日本大震災遺構を巡り防災・減災について学ぶ研修

4 所感

令和6年能登半島地震被害、災害リスク、災害対策の基本を学び、石巻市、女川町、雄勝町、気仙沼市、陸前高田市、大船渡市において、東日本大震災から13年を迎えた被災地を視察をする研修に参加しました。

東日本大震災で壊滅的な被害を受けた街々は、それぞれの復興計画に基づき歩みを進めていました。復興の速度だけを求めるのではなく、地域に根ざした文化や暮らしを尊重し、住民と行政が対話を重ねながら街づくりを進めてきた街の姿に、深い感銘を受けました。特に気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザ、女川町の復興まちづくりにおいては、「防災と景観」「安全と暮らし」という対立しがちな課題に対して、議論と協働を重ねた結果、地域の活力を取り戻す施設・街並みが生まれていました。一方で、雄勝町や要谷漁港では、防潮堤によって景観と生活文化が分断されるという課題にも直面しました。

震災遺構である大川小学校、旧気仙沼向洋高校、奇跡の一本松では、災害の脅威を「現実」として目の当たりにし、命を守るための備え、防災教育の必要性を改めて強く認識しました。特に大川小学校で伺った当事者の声は、防災教育がいかに一人ひとりの命と直結しているかを考えさせられました。

今回の研修を通して、復興とはインフラの整備ではなく、生業の再生であり、暮らしの営みそのものであり、生業を中心に置いた街づくりこそが、優先されるべきだということを強く感じました。

今後、今回の研修で得た学びを、自身の防災活動及び政策提言に確実に反映させていきます。。単なるハード面の整備にとどまらず、地域コミュニティの持続的な再生を視野に入れた総合的な防災・復興政策の推進を目指していきたいと思います。

東日本大震災遺構を巡り 防災・減災について学ぶ研修

【日程】令和6年10月28日（月）～10月29日（火）

【集合場所・時間】仙台駅 集合・出発
集合時間：10月28日（月）午前9時00分

【訪問予定地】・みやぎ東日本大震災津波伝承館
・門脇小学校
・大川小学校
・ブライダルパレス高野会館
・気仙沼市東日本大震災遺構伝承館
・東日本大震災津波伝承館 他

【宿泊】網元の宿 磯村（宮城県気仙沼市幸町4丁目1-31）

【移動手段】レンタカーを利用します

【持ち物・服装】動きやすい服装・歩きやすい靴でご参加ください

【対象】防災・減災に関心のある方ならどなたでも参加OK！

【定員】10名（先着順）

【参加費】10,000円（交通費・宿泊費別、詳細は後日案内）

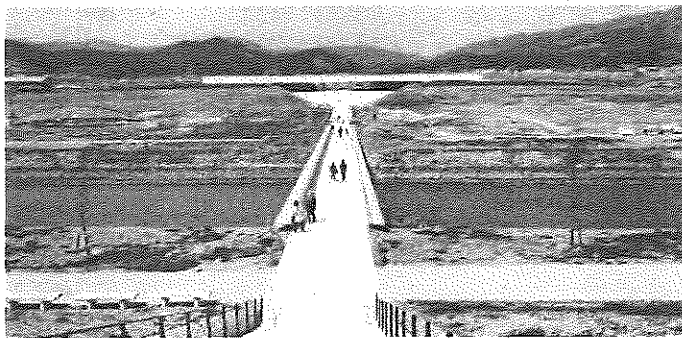
【申込方法】以下のメールアドレスにご連絡ください。
hoshigami.yukiyoshi@nihon-u.ac.jp

【申込締切】令和6年9月30日（月）まで

【注意事項】天候等により一部行程が変更となる場合があります。
あらかじめご了承ください。

【主催】日本大学理工学部 海洋建築工学科 教授 星上 幸良

（詳細プログラムは後日ご案内いたします）



岩手県陸前高田市「東日本大震災津波伝承館」

<今日のメニュー>

1. R6能登半島地震被害
2. 災害リスクとは？
3. 災害対策の基本

能力＝「才能」×「教育」×「訓練」

～哲学者「ソクラテス」の言葉～

才能：生まれ持ったもの

教育：他者（経験）が与える受け身のもの ← 災害体験・講演

訓練：自ら行う自発的努力 ← 防災意識・計画・継続

<講演者プロフィール>

- 星上 幸良（ほしがみ ゆきよし）／1965（S40）年、59歳
- 資格：博士（工学）／技術士（建設・河川砂防及び海岸・海洋）
土木学会上級技術者[海岸・海洋]

● 経歴

1988年 日本大学理工学部海洋建築工学科 卒／国際航業（株）入社
 ※1989年～1997年、仙台勤務／主に岩手・宮城の海岸業務に従事
 2007年 日本大学大学院理工学研究科 博士後期過程 修了
 ※2011年3月以降、震災復興関連業務に従事
 2019年3月 国際航業（株）退社／4月 日本大学 着任



<専門分野>

- ・ 海岸保全計画（侵食・高潮対策、環境保全、住民合意形成）
- ・ 津波防災（避難計画、防災リスク評価）
- ・ UAV（ドローン）を用いた環境計測

<学会活動など>

- ・ 日本建築学会
（海洋建築委員会、津波ワーキング委員会、災害委員会 他）
- ・ 土木学会、日本沿岸域学会、国際津波防災学会

日本建築学会 WG
震災10年復興状況視察

2021/2/27、28 撮影

1.R6能登半島地震 速報

地震の概要

<概要>

2024年1月1日(月) 16時10分

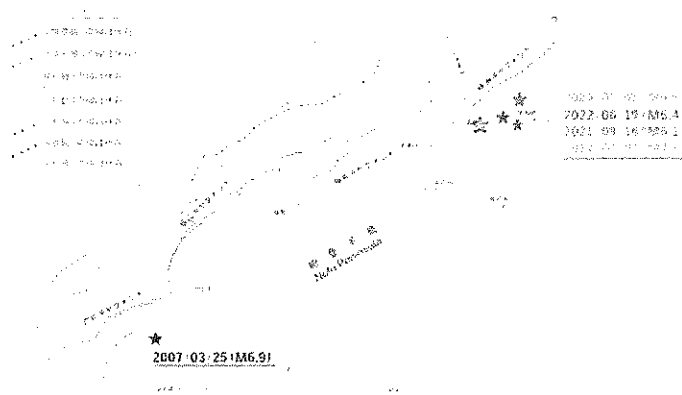
M7.6 震源の深さ 16km

最大震度7

石川県志賀町、輪島市門前町

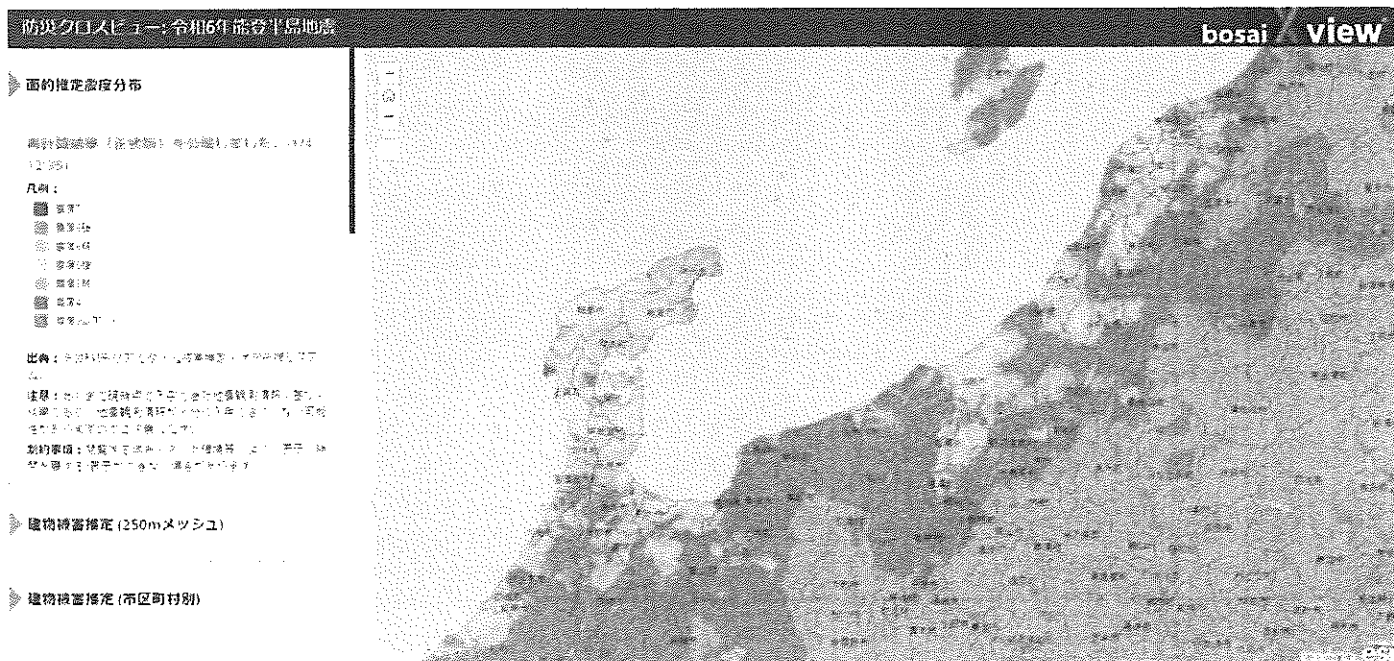
発生機構は北西－南東方向に圧力

軸を持つ逆断層型



震源位置

面的推定震度分布：国土地理院HP



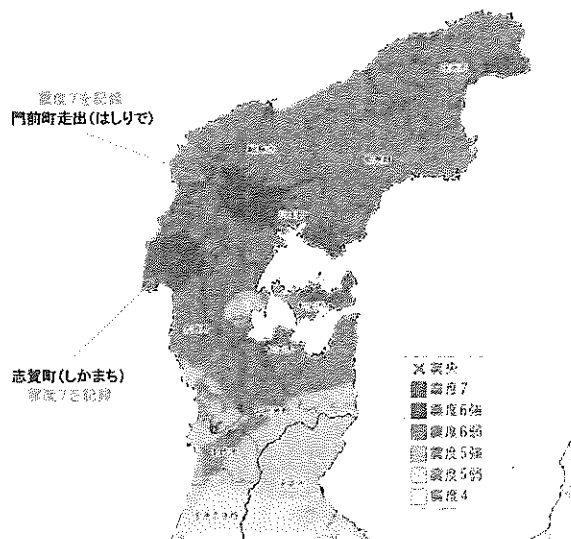
被害状況

多くの木造家屋の倒壊や津波被害に加え、地盤隆起や液状化被害が見られた。

- 死者 245人
- 全壊 8,528 棟
- 半壊 19,408 棟

国道・県道145区間が土砂崩れや法面崩壊で通行止め。

珠洲市等の3市町約190haの津波浸水が発生、最大浸水4mに達した。



能登半島地震に伴う被害の特徴

- 海岸付近（海中）の3つの断層による地震、M7.6（観測史上最大）
- 最大震度7、富山や新潟の平野部で震度6強（液状化地域）
- 地震に伴う被害（時系列順）
 - 家屋崩壊（木造+瓦屋根+建築年代古い：耐震性低い）
 - 地盤液状化（地盤沈下、噴砂、噴水、基礎や家屋の変形）
 - 土砂崩壊（急傾斜地の地滑り、宅地縁辺部（盛土？）の土砂崩壊）
 - 地盤隆起（最大3～4 m、最大3 m水平移動、岩礁隆起）
 - 津波浸水（最短2分後、最大4～5 m）
 - 倒壊家屋からの出火→木密地域+乾燥で200棟延焼
- 2023年5月5日にM6.5の「R5奥能登地震」あり
 - 珠洲市で震度6強、輪島港で津波10cm
 - 死者1名重症1名不要48名、家屋全半壊351戸

石川県に被害を及ぼした地震一覧：国土交通省HP

石川県に被害を及ぼした主な地震一覧表

発生西暦	発生和暦	地震の地域(名称)	主な被害	液状化履歴	最大震度
1729年8月1日	享保11年	(能登・佐渡)	珠洲郡、城守郡で死者5名、家屋全壊・損壊791棟、輪島村で家屋全壊28棟、能登半島先端で被害が大きい。	記録なし	不明
1799年6月29日	寛政11年	(加賀)	金沢城下で家屋全壊26棟、能登・石川・河北郡で家屋全壊961棟、死者21名。	履歴あり	6
1833年12月7日	天保4年	(羽前・羽後・越後・佐渡)	死者17名	記録なし	不明
1891年10月28日	明治24年	濃尾地震	家屋全壊25棟	履歴あり	5
1892年12月9日	明治25年	(能登半島)	羽咋郡高浜町・大打谷村で家屋損壊あり。堀松村末吉で死者11名、負傷者5名、家屋全壊2棟。	記録なし	不明
1930年10月17日	昭和5年	(大聖寺付近)	小松町等で噴水	履歴あり	6
1933年11月21日	昭和8年	(能登半島)	死者3名、負傷者55名、住宅全壊2棟	履歴あり	5
1944年12月7日	昭和18年	東南海地震	住宅全壊3棟	記録なし	4
1948年6月28日	昭和23年	福井地震	死者11名、負傷者453名、家屋全壊802棟	履歴あり	6
1952年3月7日	昭和27年	大聖寺沖地震	死者7名、負傷者8名	履歴あり	5
1961年8月19日	昭和36年	北濃尾地震	死者4名、負傷者7名	記録なし	4
1993年2月7日	平成5年	能登半島沖地震	負傷者29名、住宅全半壊21棟	履歴あり	5
2007年3月25日	平成19年	平成19年能登半島地震	死者1名、負傷者338名、家屋全壊684棟	履歴あり	6強

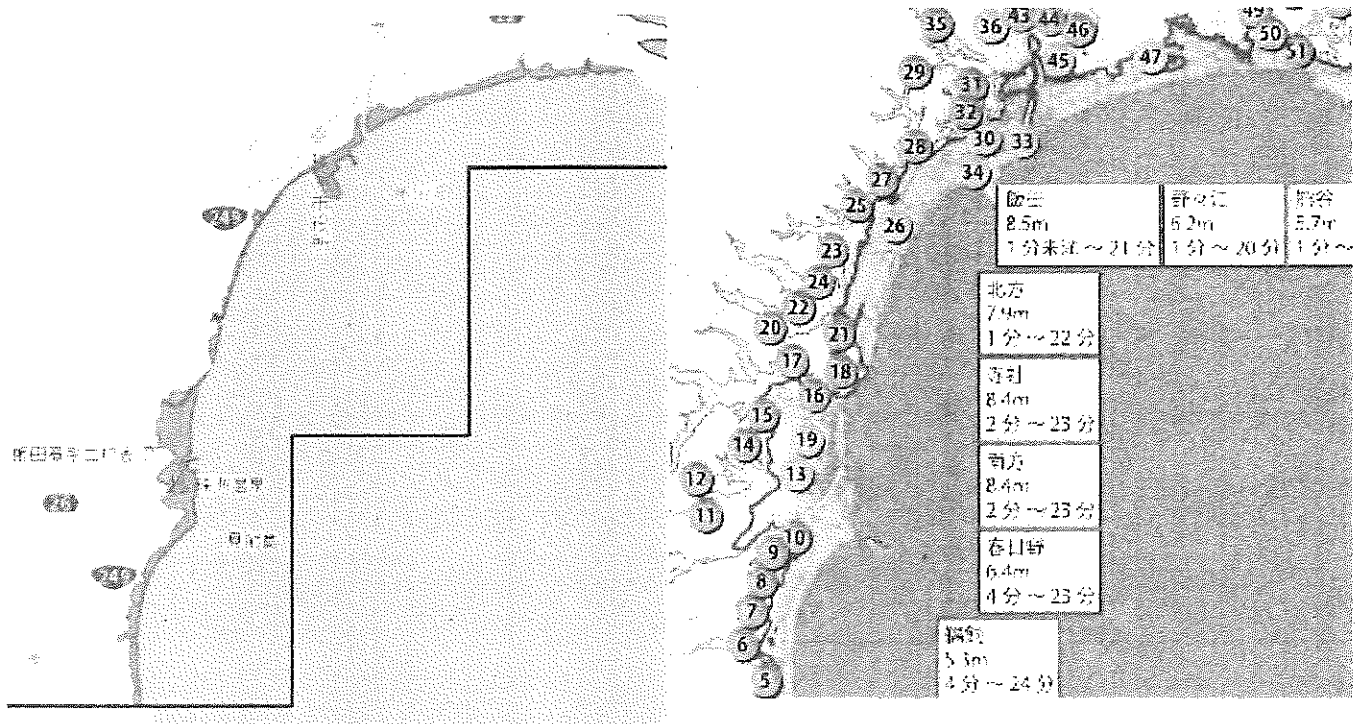
※文獻50年以降に作成

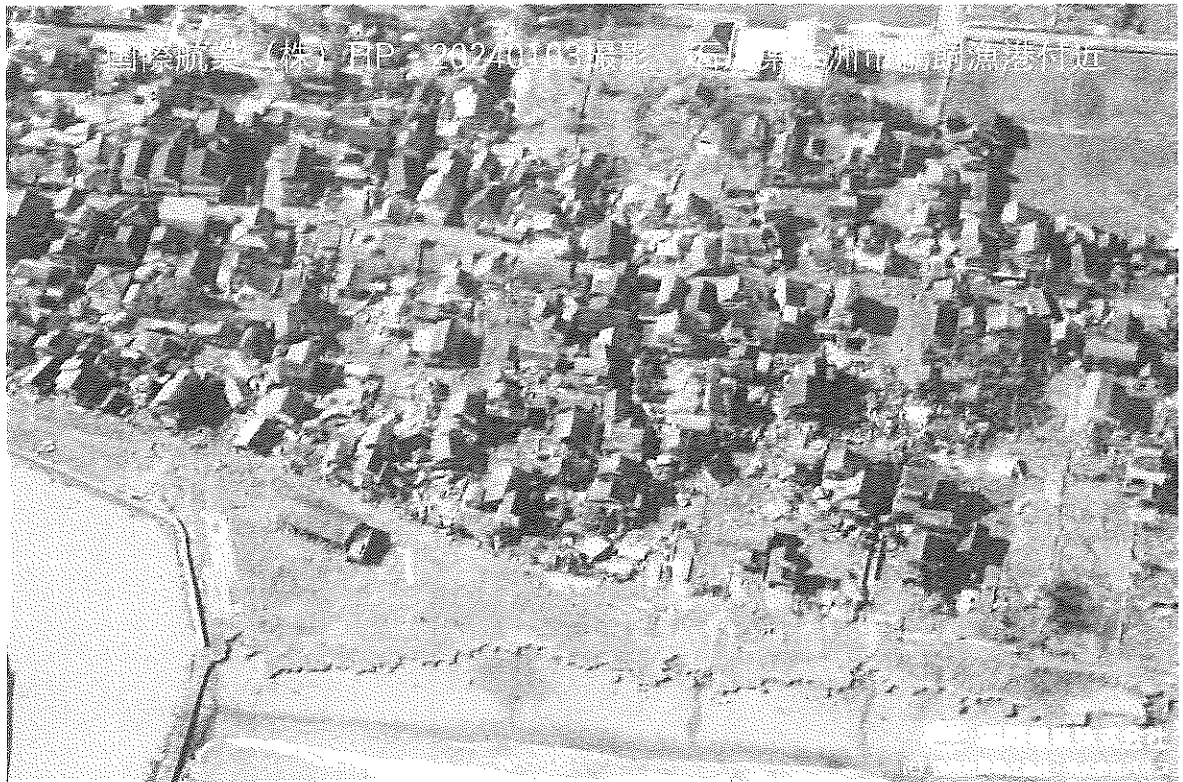
家屋等の耐震基準（建築基準法）

1950年 ▽	1978年 ▽	1981年 ▽	1995年 ▽	2000年 ▽
旧耐震基準		新耐震基準		現行の耐震基準 (2000年基準)
建築基準法施行	宮城県沖地震	建築基準法大改正	阪神淡路大震災	建築基準法改正

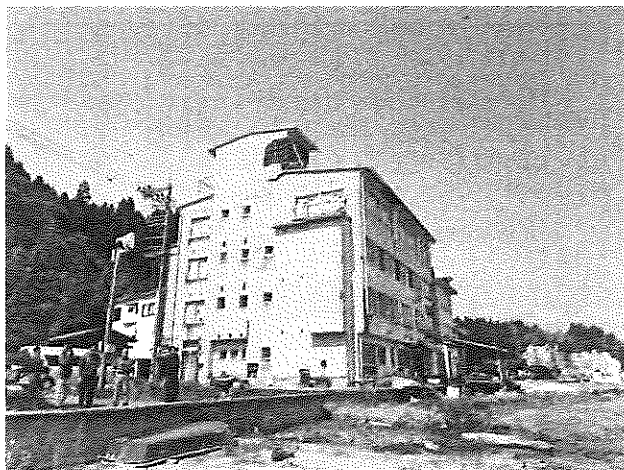
- ・旧耐震 : 震度5程度までの地震では倒壊しない → 危険
 - ・新耐震 : 震度6強～7の大規模地震では倒壊しない → 要注意
 - ・2000年基準 : 新耐震
 - + 地盤調査、接合部金物、耐力壁バランスを考慮 → 一応安心
- ※1回の地震動では倒壊しないための基準（2度目以降は保証していない）

津波浸水域（左：今時津波浸水域、右：ハザードマップ）





③能登町恋路 恋路海岸付近(震度6弱)



ホテルの外壁脱落 (10時54分)



液状化による噴砂跡

④珠洲市鵜飼 見附島付近(震度6強)



見附島 (11時06分)



マンホールの隆起

④ 珠洲市鵜飼 見附島付近(震度6強)



木造家屋の崩壊 (11時27分)



筋交いが機能している

⑤ 珠洲市宝立町 春日野付近(震度6強)



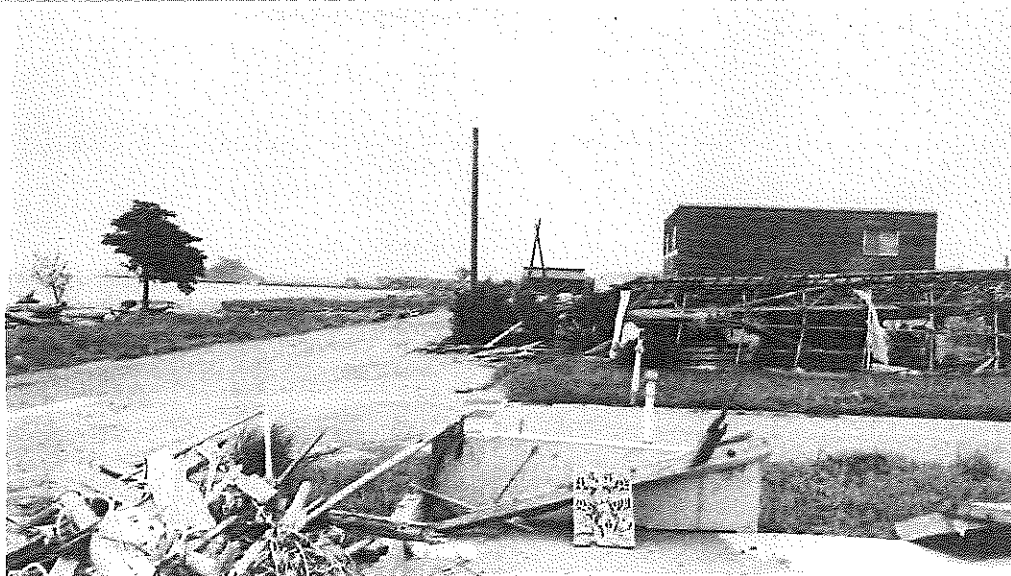
津波の痕跡 (11時54分)



漁具倉庫の基礎

津波は最大標高3mまで到達 海岸線から400m付近まで押し寄せた

⑤ 珠洲市宝立町 春日野付近(震度6強)



日本建築学会 災害調査委員会 調査速報(1/6撮影)



被災地域全景

日本建築学会 災害調査委員会 調査速報(1/6撮影)



日本建築学会 災害調査委員会 調査速報(1/6撮影)



⑥ 珠洲市野々江町 菅原神社(震度6強)



社殿 被災前



社殿 被災後

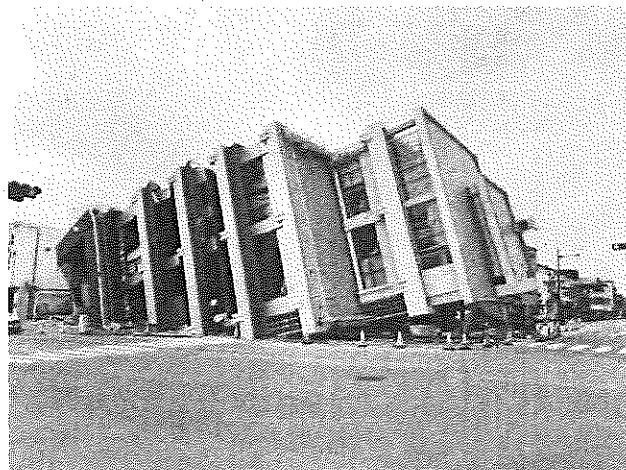
⑦ 輪島市河井町 朝市付近(震度6強)



⑦輪島市河井町 朝市付近(震度7)

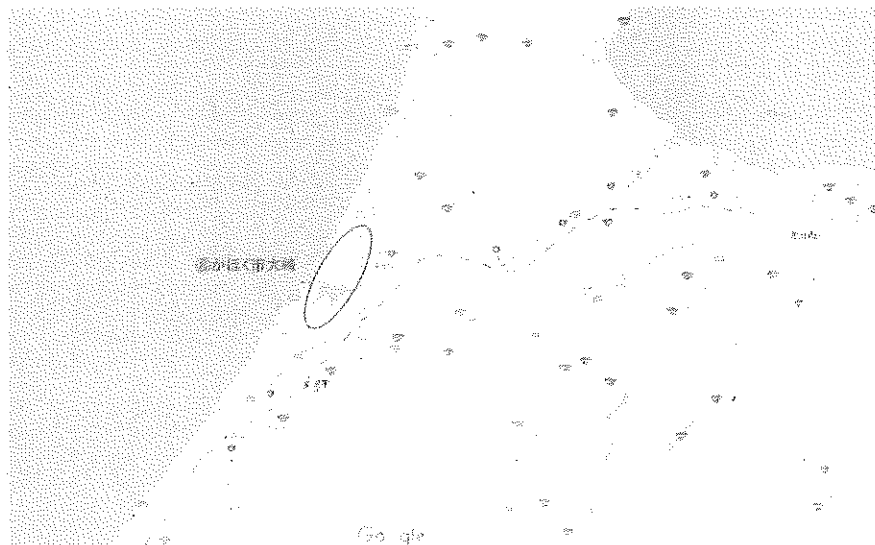


7階建てビル 被災前



7階建てビル 被災後

2日目:かほく市 大崎付近調査地域



⑧かほく市 大崎付近(震度5強)



液状化による被害 (10時57分)



波打っている道路

⑧かほく市 大崎付近(震度5強)



住宅本体は、大きな損傷はない



3階建てビルの陥没

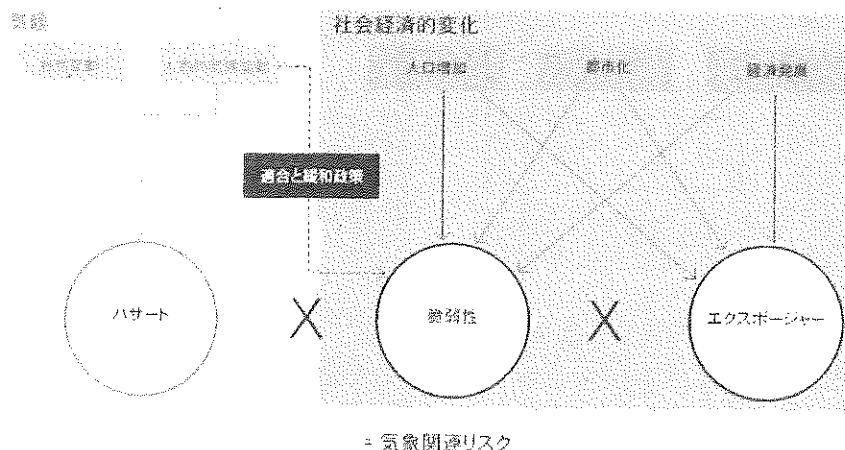
2. 災害リスクとは？

(1) 自然“災害”とは何か？

- 自然災害(*natural disaster*)とは、危機的な自然現象(*natural hazard*, ex...気象、火山噴火、地震、地滑り)によって、人命や人間の社会的活動に被害が生じる現象をいう。
- 「災害は、危機が脆弱性と出会うことで起こる」
 - ※危機：自然現象(地震、噴火、地滑り、津波、洪水など)
 - ※脆弱性：社会のもつ脆弱性(災害に対する弱さ)のこと
防災計画や、適切な危機管理がない場合、被害拡大
- 「自然現象(ナチュラル・ハザード)」が起こっても、その場所に脆弱性がなければ(例えば異変の起こった一帯にだれも住んでいない場合)、「自然災害(ナチュラル・ディザスター)」は起こらない。

図3

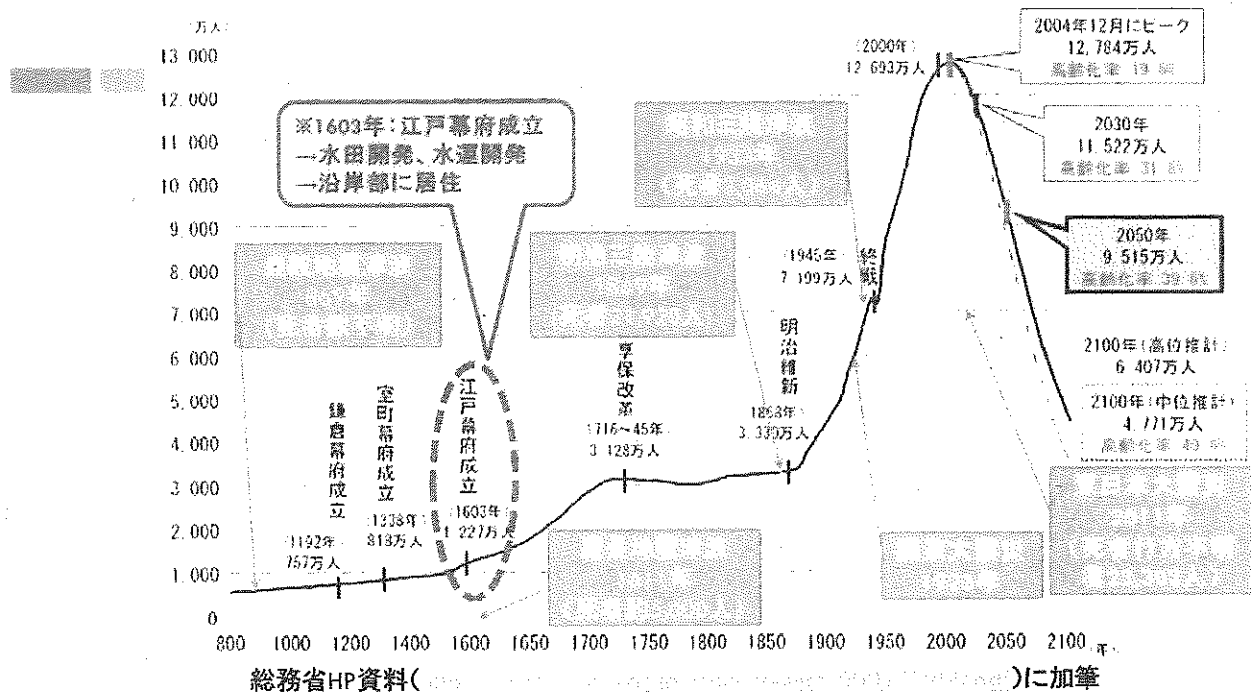
気象災害のリスクを構成する要素とその関係を示す図



出典: スイス・リー・インスティテュート

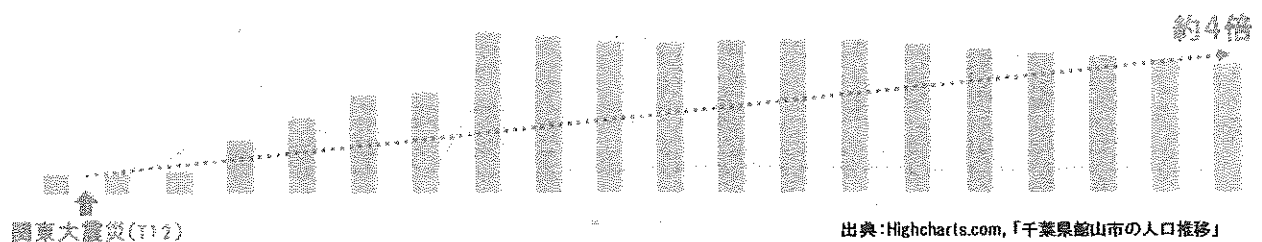
- ・人口増加、経済発展、都市化、土地利用の人為的変更...がリスク増大要因
- ・特に、悪天候に脆弱である“標高の低い沿岸地帯”のような都市部での人的資産と物的資産の集中は、深刻な気象イベントが発生した際、損害を拡大させる可能性がある
- ・リスク軽減につながるインフラの欠如が、リスクを更に高めていると分析

(2)日本の総人口の長期的推移と津波



(3)千葉県館山市沿岸部のリスク

- ・ 現在までの人口推移(館山市)



現状： 低平地が市街化し、人口増加
… 被害拡大の可能性あり
(新耐震と2000年基準)

出典：館山市立博物館, 「館山市に残る関東大震災の記念碑と痕跡」

(4) 災害リスクを知る

①地震と津波は「いつ、どこで」起きるかわからない

- ◆就寝中、寝室で(パジャマか、それとも...)
- ◆食事中、入浴中、トイレの最中、耐震化された建物が...
- ◆仕事中、オフィスや出張先
- ◆移動中、電車、車、自転車、徒歩、船
- ◆観光中、海岸や宿で ...
- ◆ケガや具合が悪い時、高齢者、幼児 ...

②「避難路」が無事とは限らない

- ◆夜間、停電したら？
- ◆地震で通行不能
(地割れ、土砂崩落、落橋、家屋倒壊、火災...)
- ◆避難場所が浸水範囲内だったら？
- ◆高いところまで距離(避難時間が短い)がある場合は？
- ◆初めて訪れた場所だったら？

R6能登半島地震
の例

地震・津波
による被災



複合災害
(同時多発)

(5) 危機に対する人の対応 : 人の危険認知は、すぐには働かない

- ①凍りつき症候群 (災害心理学)
 - ②正常性バイアス : まだ大丈夫、これは正常の範囲内と自分に言い聞かせてしまう
 - ③経験の逆機能 : 過去はこれで大丈夫だった
 - ④同調性バイアス : 皆がこうしているから私も大丈夫
 - ⑤エキスパートエラー : 専門家がこう言っているから大丈夫
- 自問自省と、実践訓練 (最悪をシミュレーションし、繰り返し訓練) するしかない。

「正常性バイアス (正常化の偏見)」

目の前に危険が迫っていても、正常な日常生活の延長線上の出来事として捉えて、

「自分は大丈夫」「まだ大丈夫」「どうせ大したことない」などと考えてしまう

人間の心理的な傾向のこと

→ 被災地の住民がうまく逃げるためには「率先避難者」が重要。

「率先避難者」: 災害時に自ら率先して危険を避ける行動を起こすことができる人

「経験の逆機能」: 過去の災害経験が、避難を阻害すること

→ ハザードマップの公表(公助) 情報提供: 経験に無い災害パターンである事を示す)

→ 「経験知」と「防災意識」を向上させる(自助) = 自主避難計画作成&防災さんぽ

3. 災害対策の基本

3-1. 防災の基本原則

- ・有事の行動は個人に託される… 命を守る行動は「**自助**」が全て
“意識”の向上 → “**動機づけ**” × “**習慣づけ**” が必要

<津波避難3原則(釜石市)>

- ◆「想定にとらわれるな」
- ◆「最善をつくせ」
- ◆「率先避難者たれ」

<安全確保の原則>

- ◆「ただちに」
- ◆「より高く」
- ◆「絶対戻らず」

出典:岩手県釜石市、「釜石市地域防災計画(令和4年3月)」

能力＝「才能」×「教育」×「訓練」

～哲学者「ソクラテス」の言葉～

才能:生まれ持ったもの

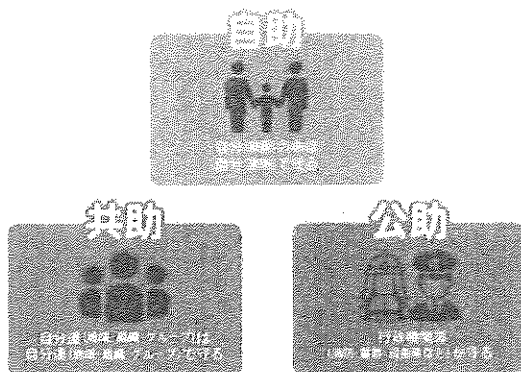
教育:他者(経験)が与える受け身のもの ← 災害体験・講演

訓練:自ら行う自発的努力 ← 防災意識・計画・継続

3. 災害対策の基本

3-2. 防災対策の現状

> 防災対策の基本



防災対策の三要素¹⁾

- ・有事の行動には「**自助**」が不可欠²⁾
- ・“**防災意識**”向上 ⇒ “**動機づけ**”必要

1) マイレイト公式サイト: 防災対策の三要素「自助・共助・公助」(2019), <https://mylto.jp/news/corporate-disaster-prevention/disaster-prevention-memories-01>

2) 岩手県釜石市: 釜石市地域防災計画(令和4年3月)

自助: 自分の身は、自分で守る

災害発生～避難に至るまで、「自分(家族)の命を守る＝生き残る」が基本

ex) 避難場所・経路の確認＝“自主避難計画”

共助: 近所や地域の人々と助け合う

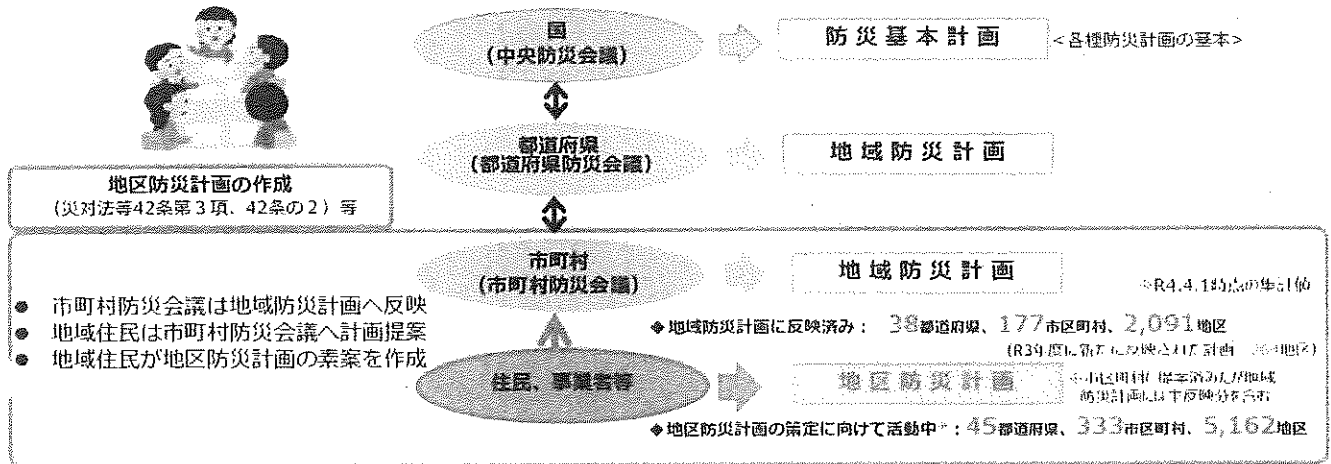
自分(家族)の安全を確保した後、近所や地域の人々と助け合う

公助: 行政機関等が守る

災害後、国・自治体・消防・自衛隊などによる公的な救助・災害支援や復旧活動

3-3.地区防災計画制度とは

- 地域住民が自発的に防災計画を作成する活動を応援するため、災害対策基本法が改正され、平成26年4月から「地区防災計画制度」が開始。
- 住民等が地区の防災計画を策定し、市町村へ提案できる計画制度。(平成26年4月1日施行)



出典:内閣府「地区防災計画モデル事業報告書」

3-4.地区防災計画の策定数

◆地域防災計画に反映済み: 37都道府県、140市区町村、2,030地区

(R2年度に新たに反映された計画 318地区)

※調査対象: 市区町村
※R3.4.1時点の集計値
R4.4.1更新

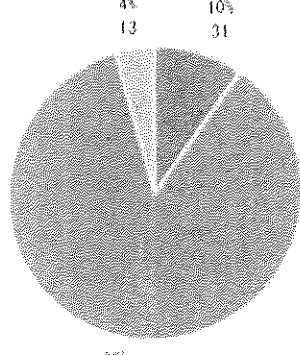
都道府県名	市区町村数	地区数	都道府県名	市区町村数	地区数	都道府県名	市区町村数	地区数
北海道	9	39	石川県	1	1	岡山県	3	3
青森県	0	0	福井県	0	0	広島県	0	0
岩手県	4	32	山梨県	5	529	山口県	1	7
宮城県	1	11	長野県	11	163	徳島県	0	0
秋田県	2	16	岐阜県	4	16	香川県	4	21
山形県	1	38	静岡県	6	23	愛媛県	4	32
福島県	2	3	愛知県	8	12	高知県	3	42
茨城県	6	82	三重県	3	14	福岡県	2	18
栃木県	4	5	滋賀県	0	0	佐賀県	0	0
群馬県	1	16	京都府	2	41	長崎県	1	9
埼玉県	6	28	大阪府	2	11	熊本県	6	158
千葉県	1	2	兵庫県	3	133	大分県	0	0
東京都	11	168	奈良県	2	5	宮崎県	1	1
神奈川県	5	284	和歌山県	0	0	鹿児島県	10	39
新潟県	3	22	鳥取県	1	4	沖縄県	0	0
富山県	1	2	島根県	0	0	合計	140	2,030

※1 出典:令和4年度 防災白書

※2 出典:飯塚智規:地区防災計画の策定・普及に関する課題と現状

3-5. 地区防災計画の実態

地区防災計画策定のきっかけ ※1



有効回答 312

地区居住者等が自発的に取組を開始 行政の働きかけ その他

行政は地区防災計画の作成を促しているが

- ・ 全国的に策定数が少ない
- ・ 地区居住者が自発的に取り組めない

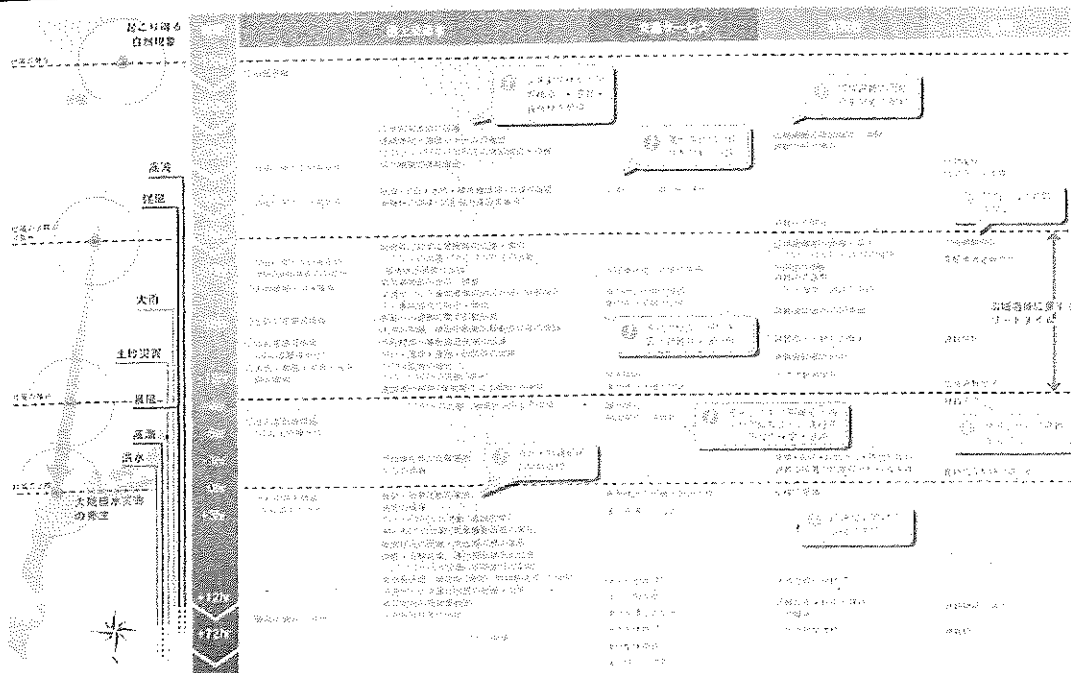


- 地区防災計画制度の認知度 ※2
- ガイドライン等のマニュアルの不備
- 実践的な内容の不足
- 計画の実行可能性の欠如

※1 出典: 令和4年度 防災白書

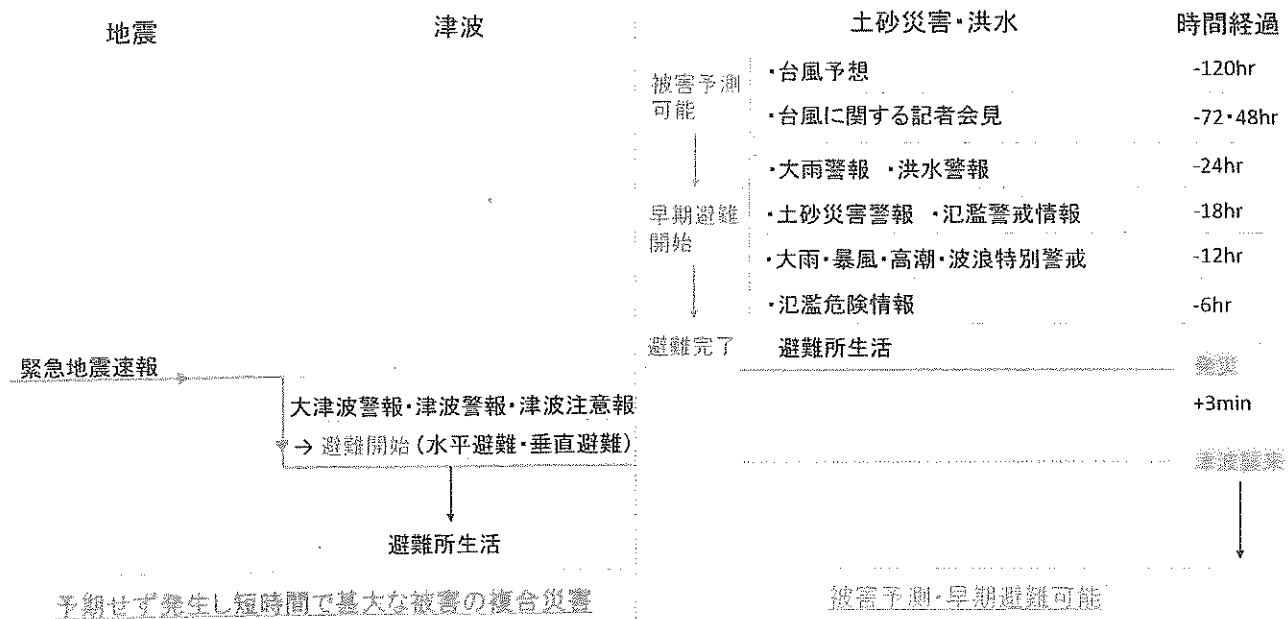
※2 出典: 飯塚智規: 地区防災計画の策定・普及に関する課題と現状

3-6. 大規模水災害に関するタイムライン(防災行動計画)の流れ



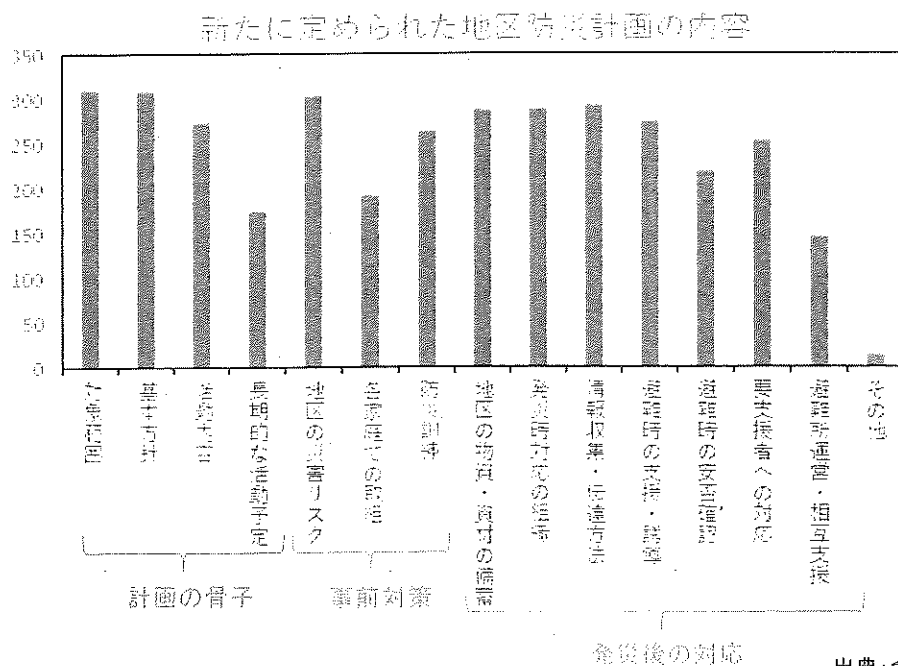
出典: 国土交通省

3-7.地震・津波災害と洪水災害等のタイムラインの比較



参考：国土交通省

3-8.地区防災計画の内容

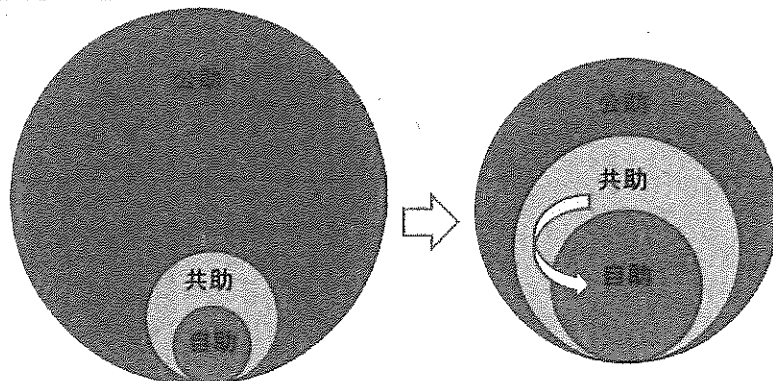


出典：令和4年度 防災白書

3-9.普及促進策

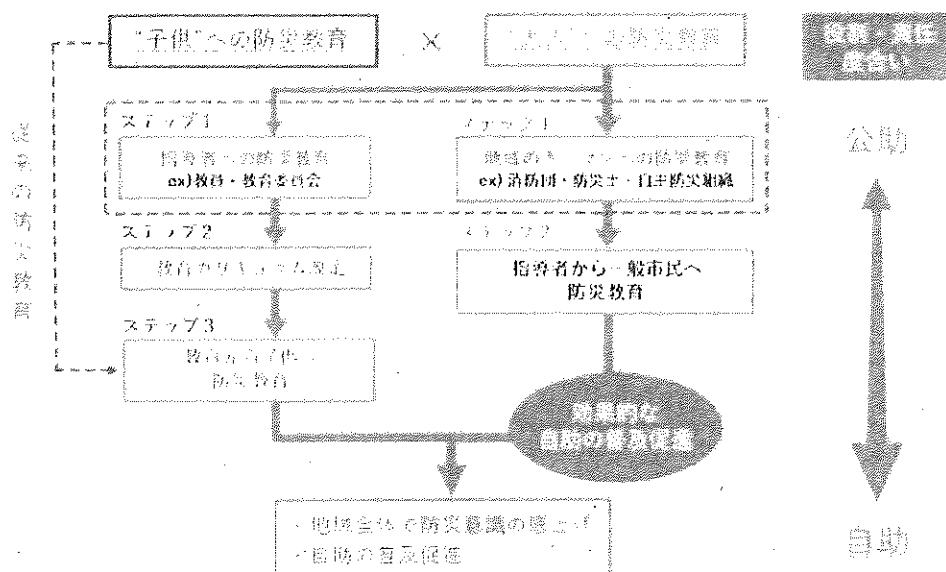
■ 実行性の高い「地区防災計画」を作成し、「共助力」を向上させる

- ・ 実践的な津波地区防災計画の作成を通して、住民の防災意識を向上させる
- ・ 形骸化しない防災体制の基盤を作成すること
- ・ 共助の促進から自助の形成を目指し、公助の軽減に繋げる



一般的な自助・共助・公助の関係図 目指すべき自助・共助・公助の関係図

4-10.防災教育による自助・共助の普及



出展: 高須健亘, 星上幸良: 津波自主避難計画の普及促進に関する研究
日本沿岸域学会研究討論会講演概要集, No.35, セッション2-1, 2023.

4-11. 自主避難計画の作成(ワークショップ)

➤ 自主避難計画とは

- ・想定外の津波へ「備える」ための「個人」の避難計画
- ・事前に避難場所や経路のリスクを確認
⇒ 自分専用の「逃げ地図」作成

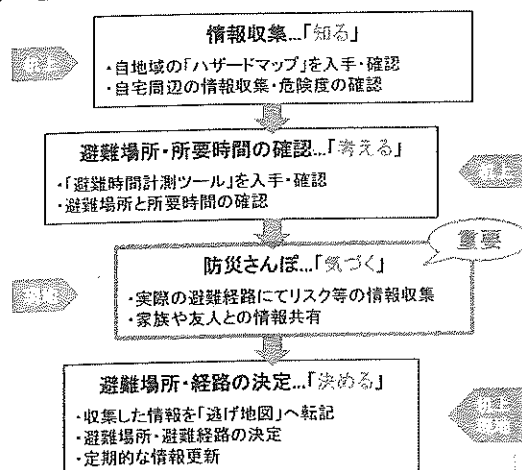
① キーマンとなる指導者育成

ex) 消防団・防災士
意識の高い住民

② 指導者⇒意識の高い住民

⇒ 家族・友人へ！

継続的な啓発



4-11. 自主避難計画の作成(ワークショップ)

➤ Step1: 机上検討

- ・ハザードマップより情報収集



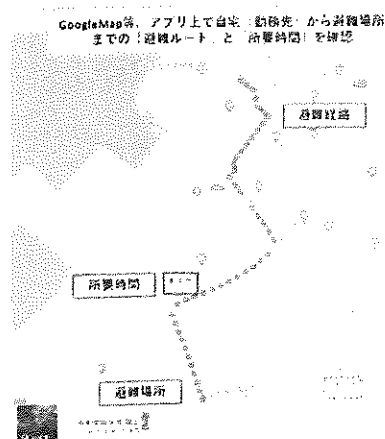
- ・GoogleMap等、身近なアプリで机上検討

- ✓ 自宅 ⇒ 避難場所(浸水区域外)
までのルートを検索
- ✓ 避難場所・経路・所要時間の確認



津波到達時間内に避難可能ですか？

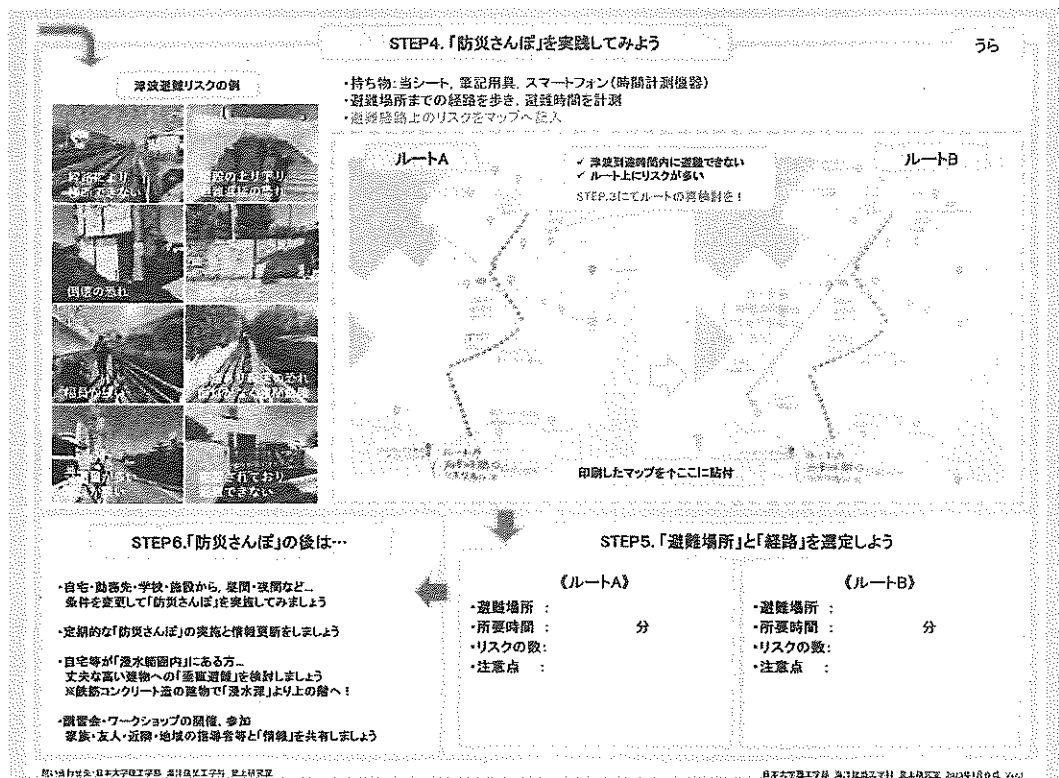
- ✓ 歩行速度により避難時間が異なる
- ✓ 避難経路上に危険箇所(リスク)がある
- ✓ 例えば、案内された目的地が学校の裏門(施設)



ルートA	ルートB
避難場所:	避難場所:
所要時間: 分	所要時間: 分

机上検討できる「情報」には限界がある

⇒ 「防災さんぽ」で確認



4-12.避難の基本

・まずは、「一時(いつとき)避難」：水面より高い所へ!

※12～24時間は待機(戻らない)→ 解除後に二次避難「広域避難所」へ

・危険な状況に陥る前に、安全な場所へ避難することがベスト

・状況により異なるため、自分が置かれた状況を十分に把握した上で、「垂直避難」または「水平避難」の何れかを選ぶ

※「自主避難計画」と「防災さんぽ」で、自宅などの安全性を事前に調べておく

※上記が困難な場合、移住・移転・改築も含めて、事前に計画・実行する

【垂直避難が推奨される状況】

- ・今いる建物が津波倒壊の恐れがない(鉄筋コンクリートの建物等)
- ・浸水深(地面から水面までの高さ)よりも高い階(フロア)がある

【水平避難が推奨される状況】

- ・安全な場所へ向かうための十分な時間がある → 津波到達時間: 10分
- ・今いる建物よりも浸水深が高い、垂直避難が不適切な場合
- ・浸水が長期化の恐れがある(孤立化)
- ・土砂災害特別警戒区域にいる など

自分の命は自分で守る！
「防災さんぽ」実践で、災害リスクに気づく
地区防災計画の推進で共助力を！

ご清聴ありがとうございました

旅費等支出内訳書

NO. 2

研修費

会派・交付議員名: 矢口輝美

実施日	R7.2.22～R7.2.23
場所及び 視察項目	「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム
参加者名	矢口輝美
費用合計	31,560円

※行政視察及び宿泊を伴う研修の場合は日程表を添付すること。

日付	項 目	内容(経路、等具体的に)	内 訳			領収証 (証憑) 番号	備 考
			単価	数	金額		
R7.1.23	交通費	2月22日分新幹線運賃 東京→名古屋	10,880円	1	10,880円	1	
R7.1.23	交通費	2月23日分新幹線運賃 名古屋→東京	9,800円	1	9,800円	2	
R7.2.22 R7.2.23	交通費	運河(東武)⇄柏(JR)⇄東京	790円	2	1,580円	3	
R7.2.22	宿泊費	2月22日宿泊分 東横イン名古屋名駅南	9,300円	1	9,300円	4	

視察行程

【日程表】 令和7年2月22日(土)～23日(日)

「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム

1日目

	電車		電車		電車		新幹線		徒歩	
運河	――	柏	――	日暮里	――	東京	――	名古屋	――	名古屋市鯉城ホール
5:44発		5:57着		6:31着		6:46着		8:56着		
		6:05発		6:34発		7:21発				

2日目

ウインクあいち	――	名古屋	――	東京	――	柏	――	運河
		17:30着		19:45着		20:38着		20:58着
16:30発		18:04発		20:03発		20:45発		

領収書
RECEIPT

宛名
RECEIVED FROM

流山市議会議員

矢口輝美

様

お預かり番号
RESERVATION NUMBER

2041

クレジットカード番号
CARD NUMBER

XXXX-XXXX-XXXX-XXXX

金額計
TOTAL AMOUNT

¥ 10,880 (10%・税込)
(クレジットカード利用・Credit card use)

内容
DETAIL

乗車券類のご購入代金
TICKETS PRICE

購入日
DATE OF PURCHASE

2025年1月23日

乗車日
DATE OF DEPARTURE

2025年2月22日

列車名・券種
利用区間

のぞみ109号
東京
FROM

名古屋
TO

東海旅客鉄道株式会社
Central Japan Railway Company
登録番号 T3180001031569



領収書
RECEIPT

宛名
RECEIVED FROM

流山市議会議員

矢口輝美

様

お預かり番号
RESERVATION NUMBER 2042

クレジットカード番号
CARD NUMBER XXXX-XXXX-XXXX-XXXX

金額計
TOTAL AMOUNT ¥9,800 (10%・税込)
(クレジットカード利用・Credit card use)

内容
DETAIL

乗車券類のご購入代金
TICKETS PRICE

購入日
DATE OF PURCHASE 2025年1月23日

乗車日
DATE OF DEPARTURE 2025年2月23日

列車名・券種
利用区間 のぞみ240号
名古屋
FROM

東京
TO

東海旅客鉄道株式会社
Central Japan Railway Company
登録番号 T3180001031569



運河→東京 2025年02月22日(土)07:00到着

05:44発→06:48着 1時間4分(乗車51分)



乗換: 2回

42.4km

⑤ 現金優先: 790円

定期券 通勤: 1か月 26,170円 / 3か月 74,590円 / 6か月 131,010円

05:44	運河	乗車位置: [6両] 前中
5駅	東武アーバンパークライン 船橋行 [発] 2・3番線 → [着] 3番線	210円
05:57着 06:05発	柏	乗車位置: [15両] 中
5駅	J R常磐線快速 上野行 [発] 3番線 → [着] 3番線	580円
06:31着 06:36発	日暮里	
6駅	J R京浜東北・根岸線 磯子行 [発] 9番線 → [着] 6番線	
06:48	東京	

790円×2=1580円 (往復)

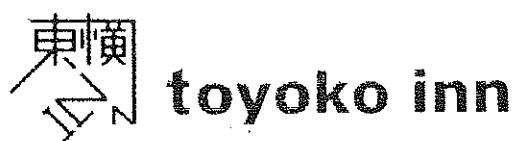
印

印

印

印

印



領 収 書

流山市議会議員 矢口輝美 様

領収金額 ¥9,300

以下にて領収いたしました。

◆ご利用明細◆

2025/02/22 宿泊料 ¥9,300

10%対象 ¥9,300 (内 消費税額 ¥845)

◆お支払い明細◆

クレジットカード ¥9,300

お部屋番号: 217

最安値宣言!!公式HP予約なら最大¥400 OFF
わがやカード決済ですいすい!!
予約はこちらtoyoko-inn.com



東横INN名古屋名駅南
TEL:052-583-1045 FAX:052-583-1046

印紙税申告納
付につき蒲田
税務署承認済

発行元
株式会社 東横イン
東京都大田区新蒲田1-7-4

登録番号:T8010801008365
取引番号:2250274210 2025/02/22 17:17

クレジットカードご利用明細

カード種別:NFC 取引内容:売上
支払区分:一括 処理番号:8854
カード会社: 有効期限:XX/XX
会員番号:37934211111176
決済方法:クレジットカード決済
AID:A000000025010901
ATC:0010 カード番号:0
製造番号:000302223411315 結果コード:000
お支払総計:¥9,300 取引ID:075n0e

研修報告書

矢口輝美

1 研修期日

令和7年2月22日（土）～23日（日）

2 研修地

鯉城ホール（愛知県名古屋市中区栄一丁目23番13号 伏見ライフプラザ5階）

ウィंकあいち（愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

3 研修事項

「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム

【一日目（全体会）】

◆シンポジウム「子どもの最善の利益原則に基づく子ども施策の創出～子どもの権利を実現する文化及び社会の構築を目指して～」

趣旨と論点：日本においては、1994年に子どもの権利条約が批准され、その後30年に渡り、同条約の理念を生かしたまち・コミュニティづくりの実践が蓄積されてきました。この間、国レベルで、同条約の実施を推進する法律が制定されなかったため、自治体レベルで、子どもの権利保障を総合的にとらえ、理念、制度・しくみ、施策などが相互に補完し合うような内容を備えた条例を制定し、子ども施策を総合的・持続的に推進しようとする自治体が増えてきました。そうした実践には、創意工夫が詰め込まれています。

2023年4月、子ども基本法が施行され、同条約の精神にのっとり、全ての子どもの権利擁護が図られ、社会全体として子ども施策に取り組むことができるよう、同条約の4つの一般原則を踏まえ、基本理念が示されました。さらに、「国及び地方公共団体は、子ども施策を策定し、実施し、及び評価するに当たっては、当該子ども施策の対象となる子ども又は子どもを養育する者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする」（第11条）と規定されました。

自治体においては、子ども・子育て支援法に基づく子ども・子育て支援事業計画、子ども・若者育成支援推進法に基づく子ども・若者計画、子どもの貧困対策の推進に関する法律に基づく子どもの貧困対策についての計画などを総合計画化し、同条約をいうグローバルスタンダードを基礎にしたローカルスタンダードの形成・実施が不可欠です。

今後、自治体には子どもの権利に基づく子ども施策を、子どもや関係当事者、市民の声を反映しながら創出する機能が求められてきます。子ども計画の実施と評価・検証を連動させる中で、子どもや関係当事者のエンパワメントを実現できる計画の実行力が必要です。

そこで今年度のシンポジウムでは、子どもの権利を実現する文化及び社会の構築を目指して、子ども施策を担う自治体が、どのように子どもの最善の利益原則に基づく子

とも施策を創出していけばいいのか、皆さんと一緒に考えたいと思います。

- ◆自治体報告（松本市・世田谷区・中野区）
- ◆子ども参加の活動報告 なごや高校生まちづくりプロジェクト
- ◆特別報告 内田塔子氏（東洋大学）「地方自治と子ども施策」全自治体調査結果報告
- ◆ディスカッション 半田勝久氏（日本体育大学） 谷口由希子氏（名古屋市立大学）

【二日目（分科会⑥こども条例）】

内容：子ども条例は、地方自治体が子どもの権利条約（政府訳「児童の権利に関する条約」1989年国連採択、1994年日本批准・発効）に則り、子どもの権利の尊重を基盤として、子どもにかかわる施策を推進するための条例である。1998年制定の川西市子どもの人権オンブズパーソン条例、2000年制定の川崎市子どもの権利に関する条例に始まる。これらが先行モデルとなり現在まで、概ね60余の自治体で子どもの権利条約に則る子ども条例が制定されてきた。他方、国では条例批准後15ねんの空白を経て2009年に子ども・若者育成支援推進法が制定された後、ことに2016年児童福祉法の改正では子どもの権利条約第12条（子どもの意見の尊重）及び第3条（子どもの最善の利益）が総則に明確に位置づけられ、条約に基づく子どもの権利の保障がうたわれた。そして2022年6月、初の包括的立法としてこども基本法が制定され、2023年4月に施行された。分科会⑥では、これまでの20年にわたる報告と検討を通して次の認識を共有してきた。子ども条例は、子どもの最善の利益の原則を子どもを含む市民、学校はじめ子ども施設や地域社会、行政機関等が共有しあい、この原則を「まちづくり」や「学校づくり」に具現していくための基本的な枠組みとなるものである。そのために子ども条例の構成には次の4つが必要となる。第一に条例前文の起草はじめ条例制定に向かうプロセスへの子ども参加、第二に子どもの権利条例およびこども基本法に則る条例の目的や理念の明示、第三にそれらを具体化するために不可欠な子どもの権利の明文化とそれを受けて実施するところの子ども施策の重要課題、第四に条例運営に関する行政の説明責任と市民参加を伴う検証の仕組み。以上を踏まえ、子ども条例の意義と役割を再確認しつつ、とりわけ子どもの権利条約発効30年の成果と課題をあらためて認識する中で、「より実効性のある子ども条例づくりに向かうアプローチ」を可能な限り明らかにしつつ共有していく。

- ◆基調報告：子どもの権利条約発効30年と今求められるより実効性ある子ども条例づくり（千里金蘭大学 吉永省三氏）
- ◆自治体からの報告
 - ・愛知県日進市教育委員会「子ども条例と学校教育」
 - ・東京都豊島区「子どもの権利条例に基づく豊島区の取り組みとこれからの展望」
- ◆市民からの報告
 - ・愛知県豊橋市「条例制定を支えるNPO・市民の活動」
 - ・三重県桑名市「議員提案による子ども条例づくり」

4 所感

教育福祉委員会において、これまで学びを重ねてきた「子どもの権利条例」について、全国各地の先進的な事例に触れることができました。

子どもの権利条約に根差した条例は、自治体が子ども施策を実施・推進・検証するための制度的な基盤となるものであり、なぜ制定しなければならないのか、その意義をあらためて実感しました。

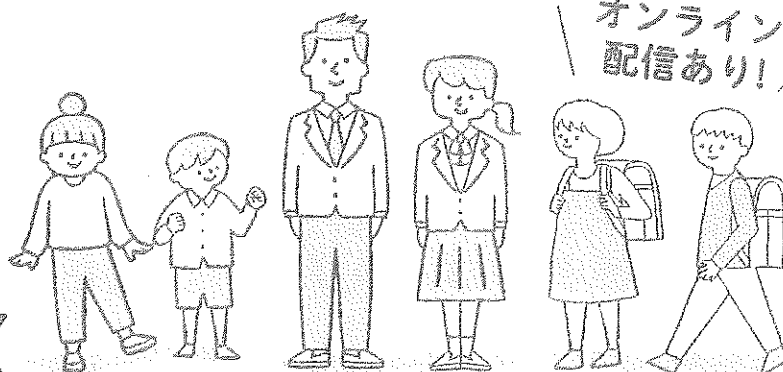
全国の取り組みを学ぶ中で、特に「子どもの意見を聞く」という視点については、まだまだ社会全体の認識が追いついていない現状があることも感じました。

単に制度を整えるだけでなく、子ども自身を一人の権利主体として尊重する文化と社会を育てていく必要があることを痛感しています。

流山市においても、条例制定を単なるゴールとするのではなく、全庁的な視点で、子どもたちの声を施策に反映させる仕組みと、その土台となる文化の醸成を目指していかなければなりません。

子どもの権利を当たり前で尊重する社会づくりに向けて、引き続き学びと実践を重ねていきたいと考えています。

「地方自治と子ども施策」 全国自治体シンポジウム2024名古屋



オンライン
配信あり!

参加費
無料

2025年
1月17日(金)
まで受付

子どもの最善の利益原則に基づき、子ども施策の創出
子どもの権利を実現する文化及び社会の構築を目指して

2025年
1日目
2月22日(土)

13:00~16:50

オープニング
全体会(テーマに基づくシンポジウム)

場 所

鯉城ホール

愛知県名古屋市中区栄一丁目23番13号
伏見ライフプラザ5階

2025年
2日目
2月23日(日)

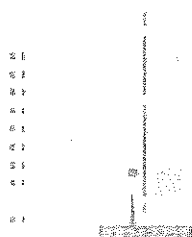
10:00~16:50

分科会
公開コーディネーター会議(総論)

場 所

ウイングあいち

愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38



- 地下鉄伏見駅5番出口か
8番出口より南へ徒歩7分
- 地下鉄大須駅4番出口
より北へ徒歩7分



- 名古屋駅ユニモール地下街
5番出口から徒歩2分

詳しくは、名古屋市公式ウェブサイトをご覧ください。

名古屋市 全国自治体シンポジウム



※参加申込は、2024年12月6日(金)10:00~2025年1月17日(金)に上記ウェブページ内の参加申込フォームで受け付けます。
オンライン配信(YouTube)を視聴する場合も参加申込が必要です。

旅費等支出内訳書

NO. 3

研修費

会派・交付議員名: 矢口輝美

実施日	R7.3.23
場所及び 視察項目	インクルーシブ教育フェスティバル
参加者名	矢口輝美
費用合計	6,400円

※行政視察及び宿泊を伴う研修の場合は日程表を添付すること。

日付	項目	内容(経路、等具体的に)	内 訳			領収証 (証憑) 番号	備 考
			単価	数	金額		
R7.3.23	交通費	運河(東武)⇔柏(JR)⇔新浦安	700円	2	1,400円	1	
R7.3.23	参加料	研修費	5,000円	1	5,000円	2	



運河→新浦安 2025年03月23日(日)09:40到着

08:44発→09:39着 55分(乗車46分) 乗換：2回 38.2km
現金優先：700円 定期券 通勤：1か月 23,500円 / 3か月 66,980円 / 6か月 118,200円

08:44	運河	乗車位置：[6両] 前 中
5駅	東武アーバンパークライン 柏行 [発] 2・3番線 → [着] 2番線	210円
08:58着 09:05発	柏	乗車位置：[10両] 中 後
3駅	J R 常磐線 代々木上原行 [発] 1番線 → [着] 2番線	490円
09:13着 09:15発	新松戸	
7駅	J R 武蔵野線 東京行 [発] 4番線 → [着] 3・4番線	
09:39	新浦安	

領 収 書

流山市議会議員 矢口輝美 様

No.

発行日 2025.3.23

金額

¥5,000

(税込)

但 インクルーシブ教育フェスティバル1日通し参加権 の代金として

現金にて受領

株式会社 Refine College

Japan居場所作りプロジェクト

〒103-0012

東京都中央区日本橋堀留町1-10-1

カクタビル2F

上記正に領収いたしました。

内 訳

税抜金額 ¥4,546

登録番号 T6010601054611

消費税等 ¥454
(10%)

TEL : 090-7334-5129

担当 :

研修報告書

矢口輝美

1 研修期日

令和7年3月23日(日)

2 研修地

浦安市民プラザWAVE小ホール

3 研修事項

インクルーシブ教育フェスティバル

講師

梅木卓也氏 バンクーバー学区公立高校教師

第一部

カナダから日本へ！

インクルーシブ教育実践講演会

第二部

インクルーシブな授業体験！

答えのない教室でインクルーシブ教育について考えてみよう

UDL：多様な関わりを大切にする学び

学びのユニバーサルデザイン（UDL）では、すべての生徒が学びに参加できるように、多様な関わり方（エンゲージメント）をデザインすることが大切である。ただ興味を引くだけではなく、学び続ける力や粘り強さ、感情をコントロールする力を育てることも重要である。

生徒たちが「なぜ学ぶのか」を自分ごととして理解できることが大切であり、得意なことや興味、学び方は人それぞれ違うので、全員に同じ方法押し付けるのではなく、一人ひとりに合った柔軟な学びの選択しを用意することが必要である。

UDLのエンゲージメントの3つのポイント

1. 興味や個性を大切にする

学習の方法を選べるようにし、さまざまな視点とつながる機会を作る

2. 努力や粘り強さを育てる

学ぶ目的を明確にし、さまざまな形で学習に取り組めるようにする

3. 安心して学べる環境をつくる

休憩をとる、必要なサポートを用意する、失敗を恐れず挑戦できる場をつくる

生徒が自分に合った方法で情報を得たり、友達と協力したり、理解を表現できるようになることが大切。感情面のサポートも重要で、自由な環境の方が力を発揮できる生徒もいれば、安定した環境が必要な生徒もいる。さらに偏見やプレッシャーを感じずに安心して学べることも欠かせない。

学びの場は、先生と生徒と一緒に作るものであり、生徒の意見を取り入れたり、必要なサポートや挑戦の機会を用意したり、振り返りや改善の機会を設けることが大切であり、UDLの考え方を取り入れることで、生徒一人ひとりが自分に合った方法で学び、意欲的に成長できる環境をつくることができる。

4. 所感

カナダのインクルーシブ教育の取り組みを学ぶ中で、流山でも今すぐに取り入れられることがあると感じた。すでにおおぐろの森中学校では「答えのない教室」の実践が進められており、これをモデルケースとして、興味を持った先生方から実践を広げていくのが良いのではないかと考える。

ただし、授業の方法だけを学ぶのではなく、先生自身がこの手法を深く理解し、生徒と共に学びの場を創り上げることが重要である。「なぜ3人なのか」「なぜランダムなのか」といった問いに向き合いながら、先生方の教育力が試される手法だと感じた。また、流山市では幼稚園・保育園での障害児受け入れが進み、子どもたちはすでにインクルーシブな環境で育っている。今後、小中学校での取り組みをさらに発展させ、より良い社会づくりにつなげていくことが求められる。

そのための具体的な提案として、以下のような施策を考える。

①教師向け研修の実施

「答えのない教室」の手法を学ぶワークショップを定期的開催。
カナダの実践例を研究し、授業に活かす方法を議論する場を設ける。

②モデル校の設定と実践の共有

すでに取り組んでいるおおぐろの森中学校を中心に、他の学校にも広げる。
実践事例を共有する場を作り、教師同士の学び合いを促進する。

③保護者・地域との連携

インクルーシブ教育の重要性を伝える講演会や説明会を開催。
地域の支援団体とも連携し、多様な学びの場を提供する。

④小学校・中学校への段階的導入

まずは有志の先生方から実践をスタートし、成功事例を積み上げながら全校的な導入を検討。
小学校段階からインクルーシブな授業づくりを意識し、中学校へとつなげる。

インクルーシブ教育の実践は、教育現場だけでなく、社会全体の意識改革にもつながる。子どもたちが多様性を尊重しながら共に学ぶ環境を整えることは、より良い未来を築くための第一歩である。流山市においても、この取り組みを積極的に推進していきたい。

教育先進国カナダに学ぶ

インクルーシブ教育 フェスティバル

3.23 日 10:00-17:00

会場 東京駅から20分 京葉線「新浦安駅」南口から徒歩3分

浦安市民プラザWave小ホール

浦安市民プラザ専用駐車場はございません。イオン新浦安ショッピングセンターの
有料駐車場をご利用の場合、駐車サービス券の発行はできません。

定員50名 参加費 1部のみ参加2,500円 2部のみ参加 3,500円
通し参加5,000円 アーカイブ視聴参加 通し 3,000円

インクルーシブ教育が根付くカナダ・バンクーバー現役の高校教師で
インクルーシブな授業を実現する「答えのない教室」を
日本に伝える第1人者の梅木卓也さんをお迎えしての講演会・
インクルーシブな授業をみんなで体験しましょう！

地域団体のブース出展あり

① 10時～12時

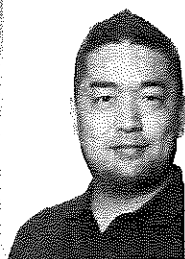
カナダから日本へ！

インクルーシブ教育実践講演会

② 13時30分～16時30分

インクルーシブな授業体験！

答えのない教室で
インクルーシブ教育について
考えてみよう



講師 梅木卓也（うめきたくや）さん バンクーバー学区公立高校教師

ワーキングホリデーをきっかけに、カナダで学童保育や障害児サポートなどに携わり、
バンクーバー市の高校数学教員となる。現在サイモンフレイザー大学にてリリヤドール教授のもと
で数学教育の修士課程在学中。より多くの生徒が自然と考えたくなる授業法「答えのない教室」
（原題：Building Thinking Classrooms）の研究者、実践者であり日本での実践本を書いた著者。
14のステップで生徒同士の協働を通してより思考を深める授業を実践。
カナダそして日本で意欲的に講演会や模擬授業を行う。

申し込み先

主催 | Japan居場所作りプロジェクト
共催 | きょうだい児の会ぞうさん組
こねくと

お問合せ | Japan居場所作りプロジェクト事務局
☎ 090-7334-5129
✉ mail@jidp.net
🌐 https://jidp.net/



領 収 書			
(住所・氏名)	〒		
	議員 矢口 輝美 様		
納入金種別 (摘要)			金 額
複写機使用料 (上半期分) (05)			40 円
()			
合 計			40
上記の金額を領収しました。			
主管課名		議会事務局	
6 年度	一般 会計	番 号	年 月 日
			領 収 印
			

コピー使用料請求内訳書

令和6年10月23日

矢口 輝美 様

流山市議会事務局長 若林 克彦

月	使用枚数	単価 (用紙代含む)	コピー代
	枚	円	円
4	0	5	0
5	0	5	0
6	0	5	0
7	8	5	40
8	0	5	0
9	0	5	0
合 計	8	5	40

納入通知書兼領収書					
下記のとおり納入してください。					
令和7年3月4日					
流山市長 井崎 義治 ㊞					
(住所・氏名)	〒				
	流山市議会議員 矢口 輝美 様				
納入金種別 (摘要)					金 額
複写機使用料 (05) (下半期分)					315 円
()					
合 計					315
上記の金額を領収しました。					
主管課名					
6	一般	番 号	年 月 日		
年度	会計		領 収 印		
科	款	項	目	節	7. 3. 5
目	20	05	03	13	

(納入者控)

3-1

コピー使用料請求内訳書

令和7年3月4日

矢口 輝美 様

流山市議会事務局長 若林 克彦

月	使用枚数	単価 (用紙代含む)	コピー代
	枚	円	円
10	0	5	0
11	0	5	0
12	15	5	75
1	48	5	240
2	0	5	0
3	0	5	0
合 計	63	5	315

資料購入費
(図書購入費等)

資料購入費支出合計 1,000円

年月日	内 容	金 額	領収書 番号	備 考
R7.2.22	「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム報告資料集代	1,000円	1	

領 収 書

流山市議会議員 矢口 輝美 様

金 1,000円 (税込)

但し、「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム報告資料集代として

上記の通り領収いたしました。

令和7年2月22日

〒460-8508

名古屋市中区三の丸3-1-1 名古屋市子ども青少年局企画経理課内

「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム2024名古屋実行委員会

委員長 荒牧 重人